



トリトン アーツ ネットワーク

事業報告書
評価事業報告書

2017

ごあいさつ

トリトン・アーツ・ネットワーク / 第一生命ホールは、お陰さまで18年目の活動に入ることが出来ました。ここまで順調に活動を継続できたのも、ひとえに皆さま方の一方ならぬご支援、ご協力の賜物と心より御礼申し上げます。

2017年度の事業活動、財政決算の報告ならびに第6期評価委員会の報告がまとまりましたので、ご覧いただきたく存じます。

2017年の活動内容の詳細につきましては事業報告書をご覧くださいますが、ホール公演事業では、「トリトン晴れた海のオーケストラ」第3回演奏会を始め、メンバーによる室内楽公演の実施や、好評が続く「子どもといっしょにクラシック」シリーズなど、また演奏家から第一生命ホールでぜひやりたいとお話をいただき実現した公演もあり、新たな魅力の発信をすることが出来ました。今後とも第一生命ホールの特性を生かした、トリトンアーツならではの活動を推進してまいりたいと存じます。

コミュニティ事業では地元中央区や東京都との連携も進み、より地域に根差した活動が行われました。財政面では新規法人会員の増加や補助金、協賛金、個人寄付の増額があり、一層の基盤強化が図られたと考えております。

ホール近隣では2年後に迫った2020年東京オリンピック、パラリンピックの選手村の建設が急ピッチで進んでおり、近隣の築地市場も本年10月に豊洲市場へ移転します。ホールを取り巻く環境が大きく変化する中で、ビジョンである「音楽でつながり、音楽とともに生きる社会の実現」を目指して、晴海から発信してまいりますので、皆さまの引続きのご支援、ご協力をお願い申し上げます。

2018年7月

認定NPO法人トリトン・アーツ・ネットワーク
理事長 長浜力雄

認定NPO法人トリトン・アーツ・ネットワーク

認定NPO法人トリトン・アーツ・ネットワーク(トリトンアーツ)は、2001年東京都より認証を受けたNPO法人です。

東京都中央区にある晴海トリトンスクエアの第一生命ホールを拠点とし、2つの柱「第一生命ホールでの公演事業」と「ホール周辺地域を中心としたコミュニティ事業」を軸に活動しています。私たちの活動は、正会員、特別会員(法人会員)、寄付者、協賛企業、助成団体、サポーター(ボランティア)の皆さまからの支援によって支えられています。お蔭さまで、その運営組織および事業活動が適正であって公益の増進に資する基準に適合したものとして東京都より、2014年11月認定NPO法人に認定されました。

ビジョン (あるべき姿)

音楽でつながり、音楽とともに生きる社会の実現

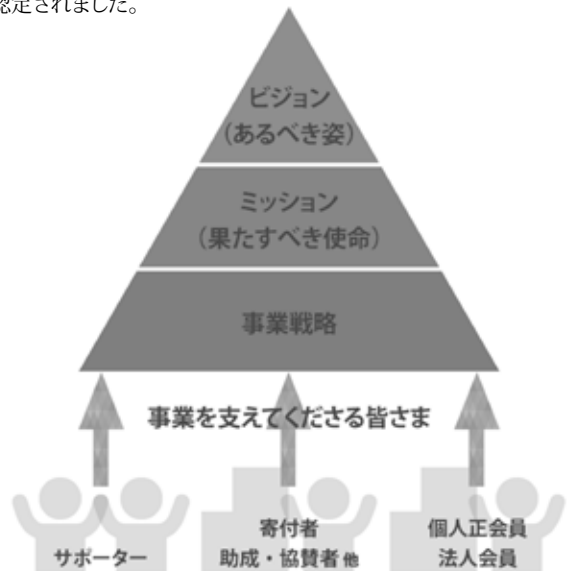
ミッション (果たすべき使命)

音楽によるコミュニティの活性化
—— 音楽の楽しさを分かち合い、心を豊かにする

広める：音楽をあらゆる年代、あらゆる層の人に広める

創る：創意工夫した音楽プログラムを創り提供する

育てる：若手演奏家、アートマネジメント人材、文化ボランティア人材を育てる



トリトンアーツの主な事業

I. 第一生命ホールでの公演事業 — ホール事業 (P.5～18 参照)

トリトンアーツが拠点とする第一生命ホールでのホール公演を年間約30回行っています。大きく3つのシリーズで構成されています。

- ライフサイクルコンサート
- クアルテット・ウィークエンド (SQW)
- ウィークエンドコンサート

II. ホール周辺地域を中心としたコミュニティ活動 — コミュニティ事業 (P.19～36 参照)

ホール周辺の地域の皆さまへ音楽をお届けする活動を年間約40回実施しています。常に地域のニーズに耳を傾け、サポーターの協力を得て幅広く柔軟に取り組んでいます。

- アウトリーチ
- 第一生命ホールオープンハウス
- ロビーコンサート
- レクチャー
- その他コミュニティ活動

III. 人材の育成事業 (P.37～39 参照)

IV. 評価事業 (2017年度評価事業報告書 (P.55～92) 参照)

アートマネジメント分野、NPO研究等の専門家によるトリトンアーツ評価委員会が、ミッションの実現に向け、事業の評価を客観的に分析・点検しています。

も く じ

ごあいさつ	1
認定NPO法人トリトン・アーツ・ネットワーク	2
もくじ	3

事業報告書

1. 2017年度の事業の成果

1-1. ホール事業	5
2017年度ホール事業一覧	
(1) ライフサイクルコンサート	
(2) クアルテット・ウィークエンド (SQW)	
(3) ウィークエンド・コンサート	
(4) トリトンアーツ共催公演	
1-2. コミュニティ事業	19
2017年度コミュニティ事業一覧	
(1) アウトリーチ	
(2) 第一生命ホールオープンハウス	
(3) ロビーコンサート	
(4) レクチャー	
(5) その他コミュニティ活動	
1-3. 人材の育成事業	37
(1) サポーター	
(2) インターンシップの受入れ	
(3) アートマネージメントに関する外部講師派遣等	
(4) 若手演奏家支援	

2. 広報活動

新聞・雑誌	41
-------	----

3. 組織運営・財政決算・定款

3-1. 役員・職員・評価委員・特別会員・寄付者・正会員	45
3-2. 総会・理事会・運営会議・企画分科会	47
3-3. 財政決算	48
3-4. 定款	51

評価事業報告書

はじめに	55
第Ⅰ部 トリトンアーツの事業へ評価について	56
第Ⅱ部 2017年度評価活動	57
第Ⅲ部 資料編	85

[文中敬称略]

事業報告書

2017

認定NPO法人
トリトン・アーツ・ネットワーク

2017 年度の事業の成果

- 1-1. ホール事業
- 1-2. コミュニティ事業
- 1-3. 人材の育成事業

1

1-1 ホール事業

2017年度 ホール事業一覧

	公演日時	シリーズ/公演名	出演者/備考	受益者数	ボランティア数
1	4/23 ⑩ 15:00	トリトンアーツ共催公演 第66回住友商事ヤング・シンフォニー CLASSIC for KIDS 2017～展覧会の絵	松原勝也(指揮、ヴァイオリンとお話) ジュニア・フィルハーモニック・オーケストラ(管弦楽) 主催:住友商事株式会社	604	0
2	4/28 ⑨ 19:00	トリトンアーツ共催公演 東京混声合唱団第243回定期演奏会	鬼原良尚/松原千振(指揮) 東京混声合唱団(合唱) 會田瑞樹(打楽器) 主催:一般財団法人合唱音楽振興会	305	2
3	5/10 ⑩ 11:00	ライフサイクルコンサート 雄大と行く 昼の音楽さんぽ 第9回 朴葵姫 風の色がおるギターの幸せ	朴葵姫(ギター) 山野雄大(ご案内) 協賛:アフラック	392	3
4	6/3 ⑨ 18:30	トリトンアーツ共催公演 バズ・ファイブ コンサート 2017 "What's the Buzz?"	バズ・ファイブ(金管五重奏) [上田じん/松山萌(トランペット) 友田雅美(ホルン) 加藤直明(トロンボーン) 石丸薫恵(チューバ)] 主催:バズ・ファイブ	195	3
5	6/4 ⑩ 14:00	クアルテット・ウィークエンド 2016年ポルドー国際弦楽四重奏コンクール優勝ツアー アキロン・クアルテット	アキロン・クアルテット [エムリン・コンセ/エリーズ・ドゥ＝ベンドゥラック(ヴァイオリン) ルイズ・デジャルダン(ヴィオラ) ルーシー・メアカット(チェロ)] 助成:公益財団法人花王芸術・科学財団	331	3
6	6/9 ⑨ 10:00/11:30/13:30	ライフサイクルコンサート 子どもといっしょにクラシック 第22回ロビーでちよちよコンサート	北見春菜(ヴァイオリン) 小澤剛(コントラバス) 井上紗織(フルート) 松木亜希(トランペット) 海老澤幸二(ドラムス) 文化庁平成29年度「劇場・音楽堂等活性化事業」	119	7
7	6/10 ⑨ 14:00	クアルテット・ウィークエンド シューマン・クアルテット I	シューマン・クアルテット [エリック・シューマン/ケン・シューマン(ヴァイオリン) リザ・ランダール(ヴィオラ) マーク・シューマン(チェロ)]	348	2
8	6/17 ⑨ 14:00	クアルテット・ウィークエンド シューマン・クアルテット II	助成:公益財団法人花王芸術・科学財団 協賛:住野公一	269	2
9	7/15 ⑨ 14:00	ウィークエンド・コンサート 假屋崎省吾と聴く 児玉麻里 ベートーヴェン ピアノ・ソナタ選集 II	児玉麻里(ピアノ) 假屋崎省吾(トークゲスト)	426	3
10	7/26 ⑩ 11:00	ライフサイクルコンサート 雄大と行く 昼の音楽さんぽ 第10回 上野耕平 歌え!サクソフォンの限界へ	上野耕平(サククス) 山中惇史(ピアノ) 山野雄大(ご案内) 協賛:アフラック	381	2
11	7/28 ⑨ 19:00	ウィークエンド・コンサート 三浦一馬(バンドネオン) 東京グラウンド・ソロイスト	東京グラウンド・ソロイスト(室内オーケストラ) [三浦一馬(バンドネオン) 石田泰尚(ソロ・ヴァイオリン) 塩田脩/ 鈴木浩司/須山暢大/双紙正哉/丹羽洋輔/山本翔平(ヴァイオリン) 大島亮/萩谷金太郎(ヴィオラ) 辻本玲/向井航(チェロ) 黒木岩寿/高橋洋太(コントラバス) 山田武彦(ピアノ) 大坪純平(ギター) 石川智(パーカッション)]	726	3
12	8/5 ⑨ 11:30	トリトンアーツ共催公演 『未来のピアニストを』ジャパンピアノコンペティション 「ハンガリー子どものための バルトーク国際ピアノコンクール」派遣選考会	選考会出場者 選考委員:エックハルト・ガーボル(ハンガリー国立リスト音楽院大学 准教授)/金子三勇士(ピアノ) 主催:ジャパンピアノコンペティション(JPC) 実行委員会	93	1
13	8/9 ⑩ 19:00	トリトンアーツ共催公演 林光メモリアル 東混八月のまつり 東京混声合唱団特別定期演奏会 38	寺嶋隆也(指揮・ピアノ) 東京混声合唱団 主催:一般財団法人合唱音楽振興会	510	2
14	8/23 ⑩ 11:00	ライフサイクルコンサート 雄大と行く 昼の音楽さんぽ 第11回 上原彩子 壮麗の先へ!ピアノ演奏の極み	上原彩子(ピアノ) 山野雄大(ご案内) 協賛:アフラック	430	3
15	9/14 ⑩ 19:00	トリトンアーツ共催公演 東京混声合唱団第244回定期演奏会	山田和樹(指揮) 東京混声合唱団 藤原功次郎(トロンボーン) 池上英樹/會田瑞樹(打楽器) 主催:一般財団法人合唱音楽振興会	201	3
16	9/24 ⑩ 14:00	ライフサイクルコンサート 子どもといっしょにクラシック 「音楽と絵本」コンサート『こんとあき』	小川典子(ピアノ) 「道」クアルテット [舘市正克/立林勉(ヴァイオリン) 清水潤一(ヴィオラ) 林一公(チェロ)] 森田樹優(朗読) 文化庁平成29年度「劇場・音楽堂等活性化事業」 後援:中央区・中央区教育委員会	649	5
17	9/27 ⑩ 18:45	ライフサイクルコンサート 6.4.5コンサート～充電の60分～ 新・純邦楽ユニット WASABI	新・純邦楽ユニット WASABI [吉田良一郎(津軽三味線) 美鶴直三朗(太鼓・鳴り物) 元永拓(尺八) 市川慎(箏・十七絃)] 文化庁平成29年度「劇場・音楽堂等活性化事業」	377	2
18	10/4 ⑩ 11:00	ライフサイクルコンサート 雄大と行く 昼の音楽さんぽ 第12回 川島成道 つよく優しきヴァイオリン	川島成道(ヴァイオリン) 山口研生(ピアノ) 山野雄大(ご案内) 協賛:アフラック	400	3

公演日時	シリーズ/公演名	出演者/備考	受益者数	ボランティア数
19 10/7 (土) 14:00	ウィークエンド・コンサート トリトン晴れた海のオーケストラ 晴れオケメンバーによる室内楽	矢部達哉/松浦奈々 (ヴァイオリン) 篠崎友美 (ヴィオラ) 山本裕康 (チェロ) 原田禎夫 (チェロ/ゲスト) 池松宏 (コントラバス) 三原秀実 (クラリネット) 岡本正之 (ファゴット) 西條貴人 (ホルン) 文化庁平成29年度「劇場・音楽堂等活性化事業」	353	2
20 10/18 (水) 19:00	トリトンアーツ共催公演 日本音楽集団 第222 回定期演奏会	日本音楽集団 (邦楽アンサンブル) 田村拓男/苫米地英一/稲田康 (指揮) 主催: 特定非営利活動法人日本音楽集団	344	3
21 10/28 (土) 15:00	ウィークエンド・コンサート 室内楽の魅力 白井光子&ハルトムート・ヘル リート・デュオ	白井光子 (メゾソプラノ) ハルトムート・ヘル (ピアノ) 文化庁平成29年度「劇場・音楽堂等活性化事業」	523	2
22 10/29 (日) 14:00	クアルテット・ウィークエンド ウェールズ弦楽四重奏団	ウェールズ弦楽四重奏団 [崎谷直人/三原久遠 (ヴァイオリン) 横溝耕一 (ヴィオラ) 富岡廉太郎 (チェロ)] 助成: 公益財団法人花王 芸術・科学財団	343	3
23 11/3 (金) (祝) 13:30	トリトンアーツ共催公演 小倉貴久子のモーツァルトのクラヴィーアのある部屋 第30回記念公演〜クラヴィーアコンチェルト〜J.Ch. バッハ	小倉貴久子 (クラヴィーア) ビリオド楽器使用室内オーケストラ 主催: メヌエット・デア・フリュゲル	318	3
24 11/5 (日) 15:00	トリトンアーツ共催公演 第67回住友商事ヤング・シンフォニー 「秋の名曲コンサート」	齋藤真知亜 (指揮とお話) ジュニア・フィルハーモニック・オーケストラ (管弦楽) 主催: 住友商事株式会社	559	0
25 11/11 (土) 14:00	ウィークエンド・コンサート トリトン晴れた海のオーケストラ 第3回演奏会	トリトン晴れた海のオーケストラ 矢部達哉 (コンサートマスター) 広田智之 (オーボエ) 文化庁平成29年度「劇場・音楽堂等活性化事業」 協賛: 晴海トリトンスクエア 後援: 日本モーツァルト協会	583	3
26 11/29 (水) 10:00/11:30/13:30	ライフサイクルコンサート 子どもといっしょにクラシック 第23回ロビーでよちよちコンサート	北見春菜 (ヴァイオリン) 田中愛 (チェロ) 北岡羽衣 (クラリネット) 高橋朋子 (ホルン) 五田詩朗 (打楽器) 文化庁平成29年度「劇場・音楽堂等活性化事業」 後援: 東京都	154	4
27 12/9 (土) 14:00	トリトンアーツ共催公演 第12回ピバホールチェロコンクール第1位受賞記念 藤原秀章チェロリサイタル	藤原秀章 (チェロ) 開原由紀乃 (ピアノ) 主催: 兵庫県養父市/ピバホールチェロコンクール実行委員会/ チェロリサイタル東京実行委員会	392	3
28 12/10 (日) 13:30/16:00	ライフサイクルコンサート 子どもといっしょにクラシック クリスマス・オーケストラ・コンサート	ARCUS (アルクス) (管弦楽) 文化庁平成29年度「劇場・音楽堂等活性化事業」 後援: 東京都/中央区・中央区教育委員会/江東区教育委員会	582 570	3
29 2018/2/18 (日) 14:00	クアルテット・ウィークエンド トリトンアーツ共催公演 エルデーディ弦楽四重奏団 弦楽四重奏のみに託されたベートーヴェン最晩年の高貴なるメッセージⅣ	エルデーディ弦楽四重奏団 [蒲生克郷/花崎淳生 (ヴァイオリン) 桐山健志 (ヴィオラ) 花崎薫 (チェロ)] 主催: エルデーディ弦楽四重奏団	262	3
30 2018/2/28 (水) 10:00/11:30/13:30	ライフサイクルコンサート 子どもといっしょにクラシック 第24回ロビーでよちよちコンサート	内藤歌子 (ヴァイオリン) 海老澤洋三 (チェロ) 桃原健一 (オーボエ) 佐々木匡史 (トロンボーン) 五田詩朗 (打楽器) 文化庁平成29年度「劇場・音楽堂等活性化事業」 後援: 東京都	146	3
31 2018/3/10 (土) 14:00	ライフサイクルコンサート 子どもといっしょにクラシック 子育て支援コンサート『ぼくはほしのこ』	高木綾子 (フルート) 池田昭子 (オーボエ) 濱崎由紀 (クラリネット) 河村幹子 (ファゴット) 日高剛 (ホルン) 坂野伊都子 (ピアノ) 中山秀征 (朗読) 文化庁平成29年度「劇場・音楽堂等活性化事業」 後援: 東京都/中央区・中央区教育委員会/江東区教育委員会	479	44
32 2018/3/11 (日) 14:00	クアルテット・ウィークエンド クアルテット・エクセルシオ アラウンド・モーツァルト vol.3 フィガロの結婚	クアルテット・エクセルシオ [西野ゆか/山田百子 (ヴァイオリン) 吉田有紀子 (ヴィオラ) 大友肇 (チェロ)] 助成: 公益財団法人花王 芸術・科学財団 後援: 日本モーツァルト協会	296	2
33 2018/3/18 (日) 14:00	ウィークエンド・コンサート 室内楽ホール de オペラ 林美智子の『フィガロ』!	林美智子 (メゾソプラノ) 澤畑恵美/鶴木給里 (ソプラノ) 竹本節子 (メゾソプラノ) 望月哲也 (テノール) 加末徹/黒田博/晴雅彦 (バリトン) 池田直樹 (バス・バリトン) 河原忠之 (ピアノ) 文化庁平成29年度「劇場・音楽堂等活性化事業」 後援: 日本モーツァルト協会	479	2
2018/3/21 (水) (祝) 14:00	文化庁平成29年度「劇場・音楽堂等活性化事業」 後援: 日本モーツァルト協会	507	3	
合計			13,839	137

① ライフサイクルコンサート

人生の様々なステージ（ライフサイクル）において、身近に音楽を楽しむ機会をご提供するシリーズ

ライフサイクルコンサートは、トリトンアーツの主催公演の中でも、各公演のターゲットとなる聴衆が、年代や地域別で明確に分かれているのが特徴です。

仕事帰りのオフィスワーカーを対象にしたコンサートは、これまで6時30分に開催していたのを6時45分からに繰り下げて「645コンサート」にリニューアル。これまでも、ジャンルを超えたコンサートをおおくりしてきましたが、2017年度ははじめて日本の伝統楽器によるユニットに挑戦。多くの企業がノー残業デーとする水曜日に、熱いパフォーマンスをお楽しみいただきました。



新・純邦楽ユニット WASABI



ロビーでよちよちコンサート
© 藤本史昭

第一生命ホールがある中央区は、タワーマンション建設が続き、20年前に7万人だった人口は2017年には15万人を超えました。中でも子育て世代の増加にともなって年少人口が非常に多いのが特徴です。「子どもといっしょにクラシック」シリーズは、この中央区晴海で音楽とともに育つ子どもたちを対象におおくりしており、2017年度も、チケット購入者の中央区、江東区居住の割合が、55.3%と半数を超えました。0歳児から3歳児向けには「ロビーでよちよちコンサート」、4歳児からはホールの客席に入って聴けるコンサートを年に3回実施しています。中でも「子育て支援コンサート」は、サポーター（ボランティア）が関わる私たちトリトンアーツならではのユニークなコンサートです。第1部では、親子が分かれて別々に音楽体験をしますが、「音楽スタジオ」で子どもたちを預かるのは、サポーターの支えがあって実現することです。「ロビーでよちよちコンサート」は毎回好評のため、年に3回から5回に回数を増やし、さらに2018年度からは年6回とする予定です。

音楽ライター山野雄大がご案内役の「星の音楽さんぽ」シリーズは3年目。毎回、出演者が打合せを重ねて練りに練ったプログラムをお届けしています。平日11:00開演ですが、2017年度は全4回のうち、7月と8月の夏休み期間に2回行い、吹奏楽やピアノに親しんでいるお子さまにもご来場いただきました。子ども向けのコンサートを除くと、他のシリーズより中央区、江東区在住の方の割合が多いシリーズです。



星の音楽さんぽ
第9回 朴葵姫
© 大窪道治

ろくよんこ

645コンサート ～充電の60分～

第一生命ホールが位置する晴海トリトンスクエア在勤者を主なターゲットとしたシリーズ

新・純邦楽ユニット WASABI

特徴・ねらい 定期公演を共催している日本音楽集団の尺八奏者、元永拓がメンバーであるユニット WASABI が登場し、オフィスワーカーに日本の伝統楽器によるライブを楽しんでいただいた。体験コーナーも設けて、会場で事前に抽選した方が舞台上がって津軽三味線、和太鼓、尺八、箏に挑戦し盛り上がった。

来場者の声 ハーモニーがすばらしかった。ノびれました！ノりました！ノとくに魂を込めた津軽三味線、楽しそうな熱演が心に残りました。ノ体験型(参加型)が面白かったです。ノステージも近くてライブ感がよかったです。



9月27日(水) 18:45開演

出演者 新・純邦楽ユニット WASABI

[吉田良一郎(津軽三味線) 美鶴直三朗(太鼓・鳴り物)
元永拓(尺八) 市川慎(箏・十七絃)]

演奏曲

WASABI: 東雲/吉田良一郎: 烈光/市川慎: イレブン/吉田良一郎: BRIGHT /
市川慎: 百夜月/吉田良一郎: しぐれ/岡野貞: ふるさと/ソーラン節(日本民謡) /
楽器体験コーナー(太鼓3名、尺八1名、箏1名、津軽三味線1名) / KOKIRIKO(日本民謡)



体験コーナーで
和楽器に挑戦！

© 藤本史昭

子どもといっしょにクラシック

4歳以上のお子さまとご家族にはホールで、乳幼児のお子さまにはロビーで楽しんでいただけるコンサート

「音楽と絵本」コンサート『こんとあき』

特徴・ねらい 前半は、ピアノソロ、弦楽四重奏、ピアノ五重奏と、色々な編成で親しみやすい曲をたっぷり聴いてもらった。後半は6年前に初演した音楽と絵本『こんとあき』を再演。音楽とともに展開する物語の世界を、親子いっしょに楽しんでもらった。公演チケットは6月早々に完売した。

来場者の声 「こんとあき」がとてもおもしろくて、会場全体が楽しそうな雰囲気になりました。親としてもクラシックに癒され、ドヴォルザークの曲が良かった。娘が年中ですが、少しずつ演奏を聴けるようになりました。次回を楽しみにしています。



楽器紹介



ピアノ・構成の小川典子さん



ぬいぐるみの「こん」と一緒に朗読

©池上直哉



9月24日(日) 14:00 開演

出演者 小川典子(ピアノ)

道クワルテット 森田樹優(朗読)

演奏曲

【第1部】いろいろな楽器の音色を聴いてみよう(楽器紹介あり)

小林美香編曲:クラシカル童謡メドレー(Lモーツァルト:「おもちゃのシンフォニー」ほか)

ハイドン:弦楽四重奏曲第77番ハ長調「皇帝」Op.76-3より第2楽章

リスト:ラ・カンパネラ/ドヴォルザーク:ピアノ五重奏曲イ長調Op.81より第1楽章

【第2部】音楽と絵本「こんとあき」(作:林明子 福音館書店刊)

(使用曲:モーツァルト:ピアノ・ソナタK310/ブルグミュラー:25の練習曲/

ドヴォルザーク:ピアノ五重奏曲より ほか/構成:小川典子)

クリスマス・オーケストラ・コンサート

特徴・ねらい お子様に音楽や様々な楽器に親しんでいただく事を目的とした公演。楽器紹介や客席参加型コーナー等、初めてクラシック・コンサートを聴くお子様に楽しんでいただく趣向を凝らした。実力派の音楽家達による演奏は、お子様だけでなく大人の方にも大好評だった。

来場者の声 音がかがきれいだった。いろいろがっきがあつておもしろかった。ノぶたいの上が気持ちよかった。ノ演奏も演出も素晴らしく、家族で楽しめました。ノ子供たちにやさしく楽器や音楽について教えて下さって良かった。



「きよこの夜」をみんなで合唱



楽器紹介



間近で聴く演奏に興味津々

©大窪道治



12月10日(日) ①13:30 開演 ②16:00 開演

出演者 ARCUS(アルクス)(管弦楽)

演奏曲

グリーグ:組曲「ホルベアの時代より」より前奏曲/石川亮太編曲:山の音楽家じゅんぱん協奏曲/

アンダーソン:トランペット吹きの子守唄/アンダーソン:クリスマス・フェスティバル/

モーツァルト:交響曲第35番二長調「ハフナー」より第1楽章/グルーパー:きよこの夜

*小学生限定、ステージ上での体験(聴いてみよう!ノ歌ってみよう!実施)

子育て支援コンサート『ぼくはほしのこ』

特徴・ねらい 「たまには大人だけでゆっくりコンサートを楽しみたい!」「でも・・・子どもにも目の前で音楽を楽しんでほしい!」そんな2つの願いを同時に叶えるコンサート。このコンサートでは、44名のサポーターが子どもの音楽体験をサポートした。

来場者の声 子どもと離れて初めてゆっくり音楽を聴くことができました。/5歳の娘もオーボエのクラスを楽しむことができたようです。高木さんのフルート演奏もとても感動しました。朗読と音楽のミックスは素晴らしかったです。/第1部は大人だけでゆっくり音楽を聴くことが出来て、癒しの時間でした。説明も分かりやすく初めてクラシックのコンサートに参加したのですが、次も行ってみたいと思いました。



音楽と絵本「ぼくはほしのこ」©越間有紀子



ニンジンでクラリネット(左) オーボエの部屋(右) /子どものための音楽スタジオ ©大窪道治



2018年3月10日(土) 14:00

出演者 高木綾子(フルート) 池田昭子(オーボエ) 濱崎由紀(クラリネット) 河村幹子(ファゴット)
日高剛(ホルン) 坂野伊都子(ピアノ) 中山秀征(朗読)

演奏曲

【第1部】◎大人のためのコンサート

クーラウ:「オイリアンテ」の主題による序奏と変奏曲 Op.63 /モーツァルト:歌劇「魔笛」より「夜の女王の aria」/モーツァルト:歌劇「フィガロの結婚」より「恋とはどんなものかしら」/
ゲルック:精霊の踊り/サラサーテ:カルメン幻想曲 Op.25

◎子どものための音楽スタジオ / 4~6歳のお子さまは、年齢順に4部屋に分かれてコンサート

【第2部】◎音楽と絵本:「ぼくはほしのこ」(作/志茂田景樹 絵/柴崎るり子 KIBA BOOK)

(構成:高木綾子/演奏曲:ユオン:ディヴェルティメント Op.51)

ロビーでよちよちコンサート

特徴・ねらい 大きなホールの客席で聴いてもらうにはまだ少し早い乳幼児とその保護者を対象とした各回限定25組のコンサート。ホールロビーのカーペット上に座って、間近に少人数で親子一緒に生演奏の楽しさを味わってもらった。参加希望者が非常に多いため、第23回からは、2日間で5回開催している。

来場者の声 目の前で楽器の音を聞けて、とても良い経験ができました。少しずつ楽器が増えていっての演奏は、だんだん音色の幅が広がるのを感じることができました。お兄さん、お姉さんの話し方、表情もとても親しみやすかったです。



©藤本史昭



第22回 6月9日(金)

① 10:00 ~ 10:45 (1歳児対象)

② 11:30 ~ 12:15 (1~2歳児対象)

③ 13:30 ~ 14:15 (2~3歳児対象)

出演者 北見春菜(ヴァイオリン) 小澤剛(コントラバス)

井上紗織(フルート) 松木亜希(トランペット) 海老澤幸二(ドラムス)

第23回 11月29日(水)

① 10:00 ~ 10:45 (6ヵ月~1歳児対象)

② 11:30 ~ 12:15 (1歳~2歳対象)

③ 13:30 ~ 14:15 (2歳~3歳児対象)

11月30日(木)

④ 10:00 ~ 10:45 (6ヵ月~1歳児対象)

⑤ 11:30 ~ 12:15 (1歳~2歳対象)

出演者 北見春菜(ヴァイオリン) 田中愛(チェロ)

北岡羽衣(クラリネット) 高橋朋子(ホルン)

五田詩朗(打楽器)

第24回 2018年2月28日(水)

① 10:00 ~ 10:45 (6ヵ月~1歳児対象)

② 11:30 ~ 12:15 (1歳~2歳対象)

③ 13:30 ~ 14:15 (2歳~3歳児対象)

2018年3月1日(木)

④ 10:00 ~ 10:45 (6ヵ月~1歳児対象)

⑤ 11:30 ~ 12:15 (1歳~2歳対象)

出演者 内藤歌子(ヴァイオリン) 海老澤洋三(チェロ)

桃原健一(オーボエ) 佐々木匡史(トロンボーン)

五田詩朗(打楽器)

雄大と行く 昼の音楽さんぽ

夜間に外出しづらい主婦や高齢者を主な対象とした、平日昼間に行う 90 分間のコンサートシリーズ

第 9 回 パク キュヒ 朴葵姫 風の色かおるギターの幸せ

特徴・ねらい 朴が留学していたスペインにまつわる作品を中心としたプログラムをお届けした。繊細で美しい音色と、きめ細やかなテクニック、曲によりイメージを変える多彩な歌心、しなやかな強さに満ちた熱演で、多くのお客様を魅了した。朴と山野によるトークも好評だった。

来場者の声 ギター一本でここまで観客を惹き込んでしまう演奏家はなかなかいない。／スペインでのことや、曲に対する思いが伺えて、更に深く楽しむことができた。／ギターの多彩な魅力を素敵な演奏で満喫することができた。



© 大塚道治

第 10 回 上野耕平 歌え！サクソフォンの限界へ

特徴・ねらい 「サクソフォンの魅力と可能性を紹介したい」という上野の思いが込められたプログラムをお届けした。卓越した技巧と非凡なセンスに裏打ちされた演奏は鮮烈で、驚きと興奮に満ちたお客様の声を沢山いただいた。吹奏楽を学んでいる学生の来場も見られた。

来場者の声 サックスは表現力豊かな楽器だと思っていたが、まさかここまでとは。／笑いと涙のため息の出る、音楽って本当に楽しいなと思える時間でした。／音色の幅広さに感心、感動すると同時に気さくな人柄にも魅かれました。



© 越間有紀子

第 11 回 上原彩子 壮麗の先へ！ピアノ演奏の極み

特徴・ねらい ロシア音楽の真髄を知る上原による、ラフマニノフのピアノ・ソナタを紐解くプログラムをお届けした。演奏出だしの 1 音目から聴き手を魅了する音色と、スケールの大きな演奏が圧巻で、お客様から深い感動の声を多くいただいた。小学生の来場も多く見られた。

来場者の声 超絶技巧にただただ感服と感謝感動でした。／こんなにも集中して聴く事が出来たのは魂を入れた演奏だったからでしょう。／自分がこうしたいと思う音を明確に表現し、楽しく弾く余裕もあるなんてすごいと思った。



© 池上直哉

第 12 回 川島成道 つよく優しきヴァイオリン

特徴・ねらい <ヴァイオリンを弾いた作曲家たち>をテーマとし、音楽に真摯に向かい続ける川島による演奏で、ヴァイオリンの魅力をご紹介した。それぞれ個性が異なる作品を、心からの共感をもって丁寧に奏でる川島の演奏が素晴らしく、多くのお客様の胸を打つ名演だった。

来場者の声 渾身の演奏スタイルに、そして流れるような優しく研ぎ澄まされた一音に胸が揺れるひと時でした。／ヴァイオリンの素晴らしさを再認識させられるような演奏会。／改めて川島さんの妻さを知った。午前中からいい気分。



© 大塚道治



5月10日(水) 11:00 開演
出演者 朴葵姫(ギター) 山野雄大(ご案内)
演奏曲

スカルラッチェ:ソナタ 二長調 K178/タレガ:アルハンブラの思い出/パークリー:ソナチネ Op.52-1/パリオス:森に夢見る/ディアンズ:ワルツ・アン・スカイ/リブラ:ソナチネより第3楽章/アルベニス:アストゥリアス(伝説) Op.47-5/カタルーニャ奇想曲 Op.165-5/コルドバ Op.232-4/セビリヤ Op.47-3 他

7月26日(水) 11:00 開演
出演者 上野耕平(サクソ) 山中惇史(ピアノ)
 山野雄大(ご案内)

演奏曲
 リムスキー=コルサコフ(網守将平編):熊蜂の飛行/J.S.バッハ:G線上のアリア/テュードル:クォーター・トゥーン・ワルツ(無伴奏)/坂東祐大:エアリアル・ダンス(上野耕平委嘱作品/改訂版初演/無伴奏)/ビゼー(山中惇史編):カルメン・ファンタジー for サクソフォン 他



8月23日(水) 11:00 開演
出演者 上原彩子(ピアノ) 山野雄大(ご案内)
演奏曲

ラフマニノフ:前奏曲 Op.3-2「鐘」
 ピアノ・ソナタ第1番 二短調 Op.28

10月4日(水) 11:00 開演
出演者 川島成道(ヴァイオリン) 山口研生(ピアノ)
 山野雄大(ご案内)

演奏曲
 イザイ:無伴奏ヴァイオリン・ソナタ第3番 二短調 Op.27-3「バラード」/ミルシテイン:パガニーニアーナ/シェーンベルク:幻想曲 Op.47/サラサーテ:サパテアード Op.23-2/パガニーニ(クライスラー編):ラ・カンパネラ/ヴィエニャフスキ:華麗なるポロネーズ第1番 二長調 Op.4 他

(2) クアルテット・ウィークエンド (SQW)

室内楽の中でも最も繊細かつ奥深いジャンルのひとつである弦楽四重奏を紹介するシリーズ

音楽史上様々な作曲家たちが腕によりをかけて作曲した弦楽四重奏曲というジャンルは、その奥深さを生涯かけて味わいたいという思いを、聴衆のみならず、演奏家にこそ、強く喚起させるようです。その深遠な世界に取り組む団体の登竜門となっている世界的コンクールのひとつ、ボルドー国際弦楽四重奏コンクールの2016年の覇者アキロン・クアルテットと、前の大会(2013年)に優勝して活躍の場を広げているシューマン・クアルテットを特集することで、ヨーロッパにおける若手弦楽四重奏の活躍の一端をご紹介します。初来日となったアキロン・クアルテット公演には、NHKの収録(テレビ、ラジオ、ネット配信)も入り、広く知っていただく機会となりました。日本の弦楽四重奏団も、それぞれが長期的な視点で取り組んだプログラムをお送りしました。



アキロン・クアルテット
©Agnès Chanut

2016年ボルドー国際弦楽四重奏コンクール優勝ツアー アキロン・クアルテット

特徴・ねらい 2016年ボルドー国際弦楽四重奏コンクール優勝記念ツアーの一環。母国フランスものを中心としたプログラムで、伸びやかで、心のこもった演奏をお届けした。テレビ収録や音楽専門誌でのインタビュー記事掲載などが、日本での活動の一步となった。

来場者の声 音色が柔らかく美しい。音楽の流れも自然で好印象。期待以上の満足度。永く活動を続け、また来日して演奏を聴かせてほしい。/四人が同じ音色を共有し、息を合わせているが、アグレッシブさもある。



©大窪道治



6月4日(日) 14:00 開演

出演者 アキロン・クアルテット [エムリン・コンセ/エリーズ・ドゥ＝ベンドウラック (ヴァイオリン) ルイーズ・デジャルダン (ヴィオラ) ルーシー・メアカット (チェロ)]

演奏曲

モーツァルト：弦楽四重奏曲 第5番 へ長調 K158 / デュティユー：弦楽四重奏曲「夜はかくの如し」
モーツァルト：弦楽四重奏曲 第6番 変ロ長調 K159
ドビュッシー：弦楽四重奏曲 ト短調 Op.10

シューマン・クアルテット (全2回)

特徴・ねらい 2013年に、アキロン・クアルテット同様、ボルドー・コンクールにて優勝。その後、ヨーロッパ、アメリカなどを中心に活躍が目覚ましいシューマン・クアルテットによる2回の公演。1回目の終演後には、セット券購入者を対象としたアフタートークを実施。演奏家の生の声を聞いて頂く良い機会となった。

来場者の声 斬新で洗練され、繊細で緊密な演奏素晴らしかったです。作家の特色もさることながら、アンサンブルの良い演奏というのは、そういう個々のプロフィールも凌駕して曲がたちあがって洗われてくることを感じました。



演奏家の素顔を垣間見ることができたアフタートーク



©大窪道治



出演者 シューマン・クアルテット [エリック・シューマン (第1ヴァイオリン) ケン・シューマン (第2ヴァイオリン) リザ・ランドル (ヴィオラ) マーク・シューマン (チェロ)]

6月10日(土) 14:00 開演

演奏曲

ハイドン：弦楽四重奏曲 変ロ長調 Op.76-4 Hob.III-78「日の出」
バルトーク：弦楽四重奏曲 第2番 Op.17 Sz.67 BB75
ベートーヴェン：弦楽四重奏曲 第7番 へ長調 Op.59-1
「ラズモフスキー第1番」

6月17日(土) 14:00 開演

演奏曲

モーツァルト：弦楽四重奏曲 第23番 へ長調 K590
「プロイセン王第3番」
武満徹：ランドスケープI (1960)
ベートーヴェン：弦楽四重奏曲 第13番 変ロ長調 Op.130

ウェールズ弦楽四重奏団

特徴・ねらい シューベルトの後期作品を核とした3回公演の2回目。人気・知名度のある「死と乙女」と新旧ウィーン楽派の組み合わせでおおくりした。演奏家から非常に充実した演奏ができたとの声もあり、繊細で緻密な演奏が、聴衆に深い感動を与えた。

来場者の声 4人の音が初めからとても良く合っていて綺麗な音でした。／とても純正な響きで素晴らしいと思いました。特に、PやPPの弱音が本当に美しかったです。／シューベルトは端正でノブルで美しかったです。



10月29日(日) 14:00 開演

出演者 ウェールズ弦楽四重奏団 [崎谷直人 / 三原久遠 (ヴァイオリン) 横溝耕一 (ヴィオラ) 富岡廉太郎 (チェロ)]
演奏曲

ハイドン：弦楽四重奏曲 第41番 ト長調 Op.33-5 Hob.III-41

ベルク：弦楽四重奏曲 Op.3

シューベルト：弦楽四重奏曲 第14番 二短調 D810「死と乙女」

〈トリトンアーツ共催公演〉 主催：エルデーディ弦楽四重奏団

エルデーディ弦楽四重奏団

弦楽四重奏のみに託されたベートーヴェン最晩年の高貴なるメッセージIV

特徴・ねらい ベートーヴェン後期の作品を核にしたシリーズの最終回。ハイドン、バルトーク、ベートーヴェンそれぞれが最後に創作（未完を除く）した弦楽四重奏曲を組み合わせたプログラム。いずれも聞きごたえのある楽曲で、熱心な愛好者が集った。

来場者の声 合奏力というものを感じた。アンサンブルなので当たり前かも知れないが、精妙な曲だった。謎めいてもいたし。／期待以上に素晴らしく、心が清められるような時間でした。「高貴」という言葉がまさにぴったりな演奏でした。



2018年2月18日(日) 14:00 開演

出演者 エルデーディ弦楽四重奏団 [蒲生克郷 / 花崎淳生 (ヴァイオリン) 桐山建志 (ヴィオラ) 花崎薫 (チェロ)]
演奏曲

ハイドン：弦楽四重奏曲 へ長調 Op.77-2 Hob.III-82「雲がゆくまで待とう」

バルトーク：弦楽四重奏曲 第6番 Sz.114 BB119

ベートーヴェン：弦楽四重奏曲 第16番 へ長調 Op.135

クアルテット・エクセルシオ

アラウンド・モーツァルト vol.3 フィガロの結婚

特徴・ねらい モーツァルトの時代や周辺作曲家を取り上げるシリーズ。約60分に及ぶ、歌劇「フィガロの結婚」の弦楽四重奏版を披露した。チェロの大友による粋な演出と、弦楽器の繊細な音色で、よく知られたオペラ作品の歌や情景をイメージさせる、稀有な演奏会となった。

来場者の声 フィガロは、時に歌声と重ね、時に場面を思い浮かべて楽しめましたよ。美しいメロディがいっぱいでした。／フィガロ、とても良かった。思っていたよりもオペラらしく楽しかった。さすがです。また、やって欲しい。



2018年3月11日(日) 14:00 開演

出演者 クアルテット・エクセルシオ
[西野ゆか / 山田百子 (ヴァイオリン) 吉田有紀子 (ヴィオラ) 大友肇 (チェロ)]
演奏曲

フンメル：弦楽四重奏曲 第2番 ト長調 Op.30-2 より 第1楽章

モーツァルト：弦楽四重奏曲 第22番 変ロ長調 K589「プロイセン王第2番」

モーツァルト：歌劇「フィガロの結婚」(弦楽四重奏版) より



後半はモーツァルトの時代のように蟹で登場

(3) ウィークエンド・コンサート

室内楽に適した第一生命ホールで、本格的なプログラムを、週末に定期的に楽しんでいただくシリーズ

第一生命ホールの空間と音響を最大限に活かした様々なプログラムに取り組みましたが、ピアノ・リサイタルから、室内オーケストラ、オペラまで、このホールの（無限の、とまではいいませんが）かなり大きな可能性を、改めて発見することになりました。

新企画としては、三浦一馬が「このホールだからこそ」と立ち上げ、満席の聴衆に熱気を持って迎えられた「東京グランド・ソロイスト」や「トリトン晴れた海のオーケストラ」の奇跡のアンサンブルの秘密をかいまみりようだった首席奏者による室内楽公演、室内楽ホールでしか聴けない生の声のアンサンブルをおとどけし、このホールならではの演出で魅せた「室内楽ホール de オペラ」と題した「林美智子の『フィガロ』！」(2回公演)があります。



林美智子の『フィガロ』！
©池上直哉

古稀記念となった白井光子とハルトムート・ヘルによるリート・デュオは、インタビュー記事が新聞などで取り上げられて (P.41 参照)、初来場のお客さまが多く足を運んでくださいました。

假屋崎省吾と聴く 児玉麻里 ベートーヴェン ピアノ・ソナタ選集 II

特徴・ねらい 32曲あるベートーヴェンのピアノ・ソナタの中から選りすぐりの曲をおおくりする第2回。華道家・假屋崎省吾による舞台上の作品は、華やかでありながら音楽に寄り添うものであり、圧巻の演奏と相まって、聴衆に深い感動をあたえていた。

来場者の声 世界的なピアニストの生演奏が聴けて感動しました。假屋崎先生とのトークがあったので、曲のこと、作曲家のこと、そしておふたりのお人柄も分り、とても素敵なコンサートでした。/假屋崎さんの活け花もとても良かった。



©大窪道治



7月15日(土) 14:00 開演

出演者 児玉麻里(ピアノ) 假屋崎省吾(トークゲスト)

演奏曲

ベートーヴェン: ピアノ・ソナタ 第20番 長調 Op.49-2

ピアノ・ソナタ 第8番 短調 Op.13「悲愴」

ピアノ・ソナタ 第29番 変ロ長調 Op.106「ハンマークラヴィア」

(トリトンアーツ共催公演)

三浦一馬(バンドネオン) 東京グランド・ソロイスト

特徴・ねらい 三浦一馬がデビュー10周年を記念して新たに挑戦する、第一生命ホールを本拠地とした室内オーケストラ。日本のクラシック界の先頭を行くソリストたちを選りすぐったメンバーとともに、ピアノを中心に、ここでしかできないプログラムをおおくりし、バンドネオンの新たな可能性を追求していく。ジャンルにとらわれず第一生命ホールの楽しみ方を広げ、紹介する企画。

来場者の声 オーケストラ編成のタンゴは初めて聞いたがとても良いです/大人の世界、夢のような時間でした。/最高の重厚な演奏に胸がいっぱいになりました。素晴らしい編成です。音色が力強く優しく心を暖かくしてくれました。



©藤本史昭



7月28日(金) 19:00 開演

出演者 東京グランド・ソロイスト(室内オーケストラ)

[三浦一馬(バンドネオン) 石田泰尚(ソロ・ヴァイオリン) 塩田脩/鈴木浩司/須山暢大/双紙正哉/

丹羽洋輔/山本翔平(ヴァイオリン) 大島亮/萩谷金太郎(ヴィオラ) 辻本玲/向井航(チェロ)

黒木岩寿/高橋洋太(コントラバス) 山田武彦(ピアノ) 大坪純平(ギター) 石川智(パーカッション)]

演奏曲

ピアノ: フーガと神秘/アディオス・ノニーノ/フーガ9(ヌエベ) /コルドバへのオマージュ/現実との3分間/
プエノスアイレスの夏/ディヴェルティメント9(ヌエベ) /プエノスアイレスの冬/バルダリート/螺鈿協奏曲

トリトン晴れた海のオーケストラ 晴れオケメンバーによる室内楽

特徴・ねらい 年1回のオーケストラ公演以外にもホールで演奏することで、より「晴れオケ」に親しんでいただき、またオーケストラをミニマムな形にした室内楽により「晴れオケ」のアンサンブルの真髄を知っていただきたいと行った、首席奏者による室内楽公演。各々のフィールドで活躍する奏者が、作品への深い理解と経験を携え織りなしていく音楽による対話に、多くの感嘆の声をいただいた。

来場者の声 ベートーヴェンの七重奏曲をはじめ聴いたが、曲想も、演奏も、うっとりする程素晴らしい！／弦楽五重奏で原田さんを中心とした世界を聴いているうちにとどろき込んでいきました。／もっと室内楽を聴きたいですね。



10月7日(土) 14:00 開演

出演者 矢部達哉／松浦奈々 (ヴァイオリン)
篠崎友美 (ヴィオラ)
山本裕康 (チェロ) 原田禎夫 (チェロ/ゲスト)
池松宏 (コントラバス) 三界秀実 (クラリネット)
岡本正之 (ファゴット) 西條貴人 (ホルン)

演奏曲

ベートーヴェン：七重奏曲 変ホ長調 Op.20
シューベルト：弦楽五重奏曲 八長調 D95



©大窪道治

トリトン晴れた海のオーケストラ 第3回演奏会

特徴・ねらい 第一生命ホール拠点の室内オーケストラ「晴れオケ」第3回公演。交響曲第39番、広田智之氏をソリストに迎えた「オーボエ協奏曲」ほかオール・モーツァルト・プログラムで構成。指揮者なしの「晴れオケ」ならではの、一人ひとりが自発的に参加し生まれてくる音楽を堪能してもらった。

来場者の声 毎回驚きと感動を体感でき、コンサートホールに足を運び甲斐があります。今回はソリストオーボエ広田さんの熱い演奏を大いに味わうことができました。モーツァルトのプログラムに対する熱意が伝わってきて、大変良かったです。



©大窪道治



11月11日(土) 14:00 開演

出演者 トリトン晴れた海のオーケストラ 矢部達哉 (コンサートマスター) 広田智之 (オーボエ)

演奏曲

<オール・モーツァルト・プログラム>
歌劇「フィガロの結婚」序曲 K492
オーボエ協奏曲 八長調 K314
セレナータ・ノットウルナ 二長調 K239
交響曲第39番 変ホ長調 K543

室内楽ホール de オペラ 林美智子の『フィガロ』!

特徴・ねらい モーツァルト「フィガロの結婚」より重唱のみをピックアップ、日本語によるセリフでつなぎ構成された林美智子プロデュース・オペラ第2弾。10人の奏者による圧倒的な音楽と演技、存在感で、モーツァルトが重唱に託したドラマが浮かび上がり、ホール中が笑いと感動に包まれた。

来場者の声 衣装や舞台に惑わされることなく、純粋に音楽だけを聴くことができうれしいです。/初めての人にも筋が分かりやすく親しみやすい構成。歌う方の本気にひきこまれました。/背景が椅子6脚だけなのに、想像の翼が広がります。会場もみな楽しそう。



© 池上直哉



2018年3月18日(日) 14:00 開演

2018年3月21日(水・祝) 14:00 開演

出演者 林美智子(ケルビーノ、バルバリーナ&日本語台詞台本・構成・演出)

加来 徹(アルマヴィーヴァ伯爵) 澤畑恵美(伯爵夫人) 黒田博(フィガロ) 鶴木絵里(スザンナ)

池田直樹(バルトロ) 竹本節子(マルチェリーナ) 望月哲也(ドン・パジリオ、ドン・クルツィオ)

晴雅彦(アントニオ) 河原忠之(ピアノ)

演奏曲

モーツァルト：歌劇「フィガロの結婚」より

室内楽の魅力

白井光子&ハルトムート・ヘル リート・デュオ

特徴・ねらい 白井の古稀を記念し、「女の愛と生涯」を軸としたプログラムをお届けした。音楽と詩を深く理解した上で自由に対話する白井とヘル表現力は圧倒的。長年世界の第一線で活躍し続ける二人だからこそその境地に感銘を受けたとの声を多くいただいた。

来場者の声 デュオのすばらしさを満喫しました。/憧れの白井光子さんのコンサート。心が震えました。/前半のシューマンももちろん、特に後半のヴォルフが絶品だった。アンコールも楽しかった。/あたたかい人柄を感じました。



© 大窪道治



10月28日(土) 15:00 開演

出演者 白井光子(メゾソプラノ) ハルトムート・ヘル(ピアノ)

演奏曲

シューマン：献呈 Op.25-1 / 出会いと別れ Op.90-3 / ひそやかな愛 Op.35-8 / 心の通いあい Op.77-3 / 歌曲集「女の愛と生涯」Op.42

ブラームス：夜鳴きうぐいす Op.97-1 / すばらしい夜 Op.59-6 / ひばりの歌 Op.70-2 / 我らはさまよった Op.96-2 / セレナーデ Op.106-1

ヴォルフ：眠りなき者の太陽 / 4月の黄色い蝶 / 棕櫚のこずえにただよう天使よ / わたしの巻き毛のかけで / ミニョン「君よ知るや南の国」

(4) トリトンアーツ共催公演

合唱や邦楽など、トリトン・アーツ・ネットワーク主催公演では取り上げにくい公演を協力して実施

第一生命ホールが有楽町にあった時代からご一緒してきた東京混声合唱団、日本音楽集団、コミュニティ活動でもお世話になっている日本音楽集団、バズ・ファイブ、小倉貴久子、第一生命ホールのある晴海トリトンスクエアに本社を構える住友商事による「ヤング・シンフォニー」など、長年様々なことで協力関係にある公演ばかりです。2017年度は、志を同じくする新企画として「ハンガリー子どものためのバルトーク国際ピアノコンクール」派遣選考会を行いました。



東京混声合唱団

ホール事業

〈トリトンアーツ共催公演〉 主催：住友商事株式会社

住友商事ヤング・シンフォニー

特徴・ねらい 日本で最も歴史のあるユース・オーケストラのひとつであるジュニアフィルの公演を年に2回、共催公演として開催した。それに合わせ、弦楽器を学ぶ小・中学生の初・中級者を対象に、合奏の楽しさを感じてもらう事を目的として講座も実施し、最後には「住友商事ヤング・シンフォニー」の公演の中でホールステージにて発表した。

来場者の声 若い力がみなぎっていました。心が1つになって演奏していることがよくわかりました。演奏者が子供だという事をすっかり忘れてしまうほどの素晴らしいコンサートで楽しかったです。



第66回公演



第66回 CLASSIC for KIDS 2017～展覧会の絵～
4月23日(日) 15:00 開演
出演者 松原勝也(指揮、ヴァイオリンとお話)
ジュニア・フィルハーモニック・オーケストラ(管弦楽)
演奏曲
ムソルグスキー：交響詩「はげ山の一夜」
プロコフィエフ：ヴァイオリン協奏曲第1番 二長調
ムソルグスキー：組曲「展覧会の絵」



室内楽体験講座<春の講座>
開催時期
3月2日～4月20日までの7日間
各日 18:30～
課題曲
ウォーロック：カプリオール組曲より



第67回 「秋の名曲コンサート」
11月5日(日) 15:00 開演
出演者 齋藤真知亜(指揮とお話)
ジュニア・フィルハーモニック・オーケストラ(管弦楽)
演奏曲 〈オール・チャイコフスキー・プログラム〉
バレエ音楽「眠りの森の美女」「くるみ割り人形」「白鳥の湖」より
弦楽四重奏曲第1番より第2楽章「アンダンテ・カンタービレ」
大序曲「1812年」



室内楽体験講座<秋の講座>
開催時期
9月13日～10月31日までの7日間
各日 18:30～
課題曲
バッハ：2つのヴァイオリンのための協奏曲より第1楽章

〈トリトンアーツ共催公演〉 主催：バズ・ファイブ

バズ・ファイブ コンサート2017 “What’s the Buzz?”

特徴・ねらい 金管五重奏団バズ・ファイブとの共催公演(2年目)。ホールでは特に豊かでまろやかに響く金管楽器の音色、五重奏のアンサンブルの面白さを堪能してもらう公演となった。コンサートの最後には、「好きです、トリトン！」(小川聡作曲)を、お客様と一緒に舞台上で演奏した。

来場者の声 演奏に圧倒されました。心が震えっぱなしでした。ずーっと聴いていたかったです。とても勉強になり、楽しかったです。最後バズ・ファイブの皆さんと演奏できて思い出になりました！初めて聴きましたが、大変感動しました。



6月3日(土) 18:30 開演
出演者 バズ・ファイブ(金管五重奏)
[上田じん/松山萌(トランペット) 友田雅美(ホルン)
加藤直明(トロンボーン) 石丸薫恵(チューバ)]
演奏曲
マイケル・ティルソン・トーマス：ストリート・ソング
ミハエル・プレトリウス：テレシコーレより
ガーシュウィン：組曲「ボーギーとベス」より
メンバーソロコーナー



楽器持参のお客様と一緒に「好きです、トリトン！」をステージで演奏

〈トリトンアーツ共催公演〉 主催：一般財団法人合唱音楽振興会
東京混声合唱団

特徴・ねらい 主催公演では取り上げることができていない合唱の魅力をお届けした。4月の定期演奏会では、お二人の指揮者による演奏の違いを感じて頂けた。9月の演奏会では、音楽監督を務める山田和樹指揮によるドイツの作曲家を系譜でたどるプログラムをお聴き頂いた。

来場者の声 男性の重厚な声、女性のすき通るような声は、楽器がなくてもまさるものでした。／とても不思議な空間に誘われました。声だけのハーモニーがこのような世界を産み出すのですね。



東京混声合唱団第243回定期演奏会

4月28日(金) 19:00 開演
出演者 鬼原良尚／松原千振(指揮)
 東京混声合唱団 會田瑞樹(打楽器)

演奏曲
 クレメンス・ガーデンシュテッター：ロックドイン(バージョンb)(2013)-日本初演-／三ツ石潤司：祈り-2016(2017年委嘱)-初演-他



東京混声合唱団第244回定期演奏会

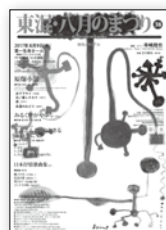
9月14日(木) 19:00 開演
出演者 山田和樹(指揮) 東京混声合唱団
 藤原功次郎(トロンボーン)
 池上英樹／會田瑞樹(打楽器)

演奏曲 〈作曲家の系譜シリーズVol.2 ドイツ編〉
 ボリス・ブラッハー：ヴォカリゼン(1973)／ロクラン・スキップワース：夢の賛歌-3群の合唱と2人の打楽器奏者のための-(2017年委嘱)他

〈トリトンアーツ共催公演〉 主催：一般財団法人合唱音楽振興会
林光メモリアル 東混八月のまつり
東京混声合唱団特別定期演奏会 38

特徴・ねらい 毎年、原爆投下の時期にあわせ、故林光氏の遺志を受け継ぎ、「原爆小景」を歌い続けていく公演。原爆や沖縄戦の悲惨さを心に留めておいて欲しいという重く、強い願いを、会場内の演奏者、聴衆と共有ができた意義のある公演だった。

来場者の声 72年前の情景が現れた。(70歳以上男性)／原爆小景は強烈な魂の叫び、そして祈りとして胸にせまりました。色彩豊かな声の世界に身をおくことができ幸せでした。



8月9日(水) 19:00 開演

出演者 寺嶋陸也(指揮・ピアノ) 東京混声合唱団 立川直也(照明)

演奏曲

林光(詩：原民喜)：原爆小景

水ヲ下サイ(1958)／日ノ暮レチカク(1971)／夜(1971)／永遠(とわ)のみどり(2001)

萩京子(詩：知念捷)：みるく世(ゆ)がやゆら(2016)

寺嶋陸也(詩：須藤洋平)：無伴奏混声合唱のためのざんざんと降りしきる雨の空に(2013)

1ハレルヤ／2走る／3合掌／4ざんざんと降りしきる雨の空に

林光編曲による日本抒情歌曲集より

〈トリトンアーツ共催公演〉 主催：ジャパンピアノコンペティション(JPC)実行委員会
『未来のピアニストを』 ジャパンピアノコンペティション
「ハンガリー子どものためのバルトーク国際ピアノコンクール」派遣選考会

特徴・ねらい ピアニスト金子三勇士が中心となり、グローバルに活躍する『未来のピアニスト』を育成するために実施したコンクール。テクニックだけではなく、将来性を秘めた子どもたちを選考し、多様な学びの場を提供している。地区大会(高崎・米原・呉・上田・熊本)を経て、第一生命ホールで「ハンガリー子どものためのバルトーク国際ピアノコンクール」へ派遣する6名を選考。選考会後、ガーボル氏によるマスタークラスも開催した。



8月5日(土) 選考会

8月6日(日) エックハルト・ガーボル氏によるマスタークラス

選考会出場者 20名(「JPC2016-17」地区大会、「ルッチの未来のピアニスト2011-15」優秀者)

※「JPC2016-17」地区大会開催地：高崎(群馬)・米原(滋賀)・呉(広島)・上田(長野)・熊本(熊本)

選考委員 エックハルト・ガーボル(ハンガリー国立リスト音楽院大学准教授)／金子三勇士(ピアノ)

課題曲 (バルトークの作品)＋自由曲

〈トリトンアーツ共催公演〉 主催：特定非営利活動法人日本音楽集団

日本音楽集団 第222回定期演奏会

日本音楽集団「傑作選」 邦楽巨大アンサンブルへの挑戦

特徴・ねらい 邦楽アンサンブルの日本音楽集団との共催公演。「傑作選～邦楽巨大アンサンブルへの挑戦」と題し、日本音楽集団のレパートリーの中でも、特に編成が大きく、その大編成が効果的に用いられている3曲で構成。20パート以上の邦楽器での圧巻の大合奏で、会場は大いに盛り上がった。

来場者の声 初めて聴く和楽器の演奏、合奏だった。素晴らしい。／各々の楽器の個性と、合奏のハーモニーが素晴らしかった。和楽器でここまで迫力のある演奏ができること、編曲も素晴らしく感動しました。／もっと色々聴いてみたいになりました。



写真提供：日本音楽集団

10月18日(水) 19:00 開演

出演者 日本音楽集団(邦楽アンサンブル)
田村拓男／苫米地英一／
稲田康(指揮)

演奏曲

佐藤敏直：ディヴェルティメント(1969)
伊福部昭(秋岸寛久編)：日本音楽集団版
「交響譚詩」(2005)
三木稔：巨火(1976)

〈トリトンアーツ共催公演〉 主催：メヌエット・デア・フリューゲル

小倉貴久子の モーツァルトのクラヴィアのある部屋 第30回記念公演～クラヴィアコンチェルト～J.Ch. バッハ

特徴・ねらい フォルテピアノ奏者・小倉貴久子のコンサートシリーズ「モーツァルトのクラヴィアのある部屋」の第30回記念公演。モーツァルトとJ.Ch. バッハの作品を取り上げた。古楽器のスペシャリスト達によるアンサンブルと第一生命ホールの音響の相性が非常に素晴らしかった。コジマ録音によるライブCD収録有。(朝日新聞 for your Collection 特選盤、毎日新聞特薦盤、レコード芸術特薦盤)。

来場者の声 作曲家の背景についても詳しく知ることが出来、とても充実したコンサートでした。／ピアノシモの一音一音まで素敵でした。／おしゃべりを楽しんでいるかのような、小倉さんの弾き方が印象的でした。



11月3日(金・祝) 13:30 開演

出演者 小倉貴久子(クラヴィア)
ピリオド楽器使用室内オーケストラ

演奏曲

J.Ch. バッハ：コンチェルト 二長調 Op.13-2 /
W.A. モーツァルト：コンチェルト 二長調 K107-1
(原曲 J.Ch. バッハ：ソナタ 二長調 Op.5-2) /
コンチェルト 第27番 変ロ長調 K595 他

〈トリトンアーツ共催公演〉 主催：兵庫県養父市／ピバホールチェロコンクール実行委員会／
チェロリサイタル東京実行委員会

第12回ピバホールチェロコンクール第1位受賞記念 藤原秀章チェロリサイタル

特徴・ねらい 2年に1度開催している「ピバホールチェロコンクール」(兵庫県養父市)の第1位受賞記念コンサート。今後の活躍が期待される若手チェロリストの東京での初リサイタルをサポートしている。

来場者の声 若いチェリストを育てる素敵なプログラムとコンサートがとても嬉しかったです。／本日のリサイタルの曲によせての「演奏者のコメント」は今までのコンサートではなかったので、曲の概要や、藤原さんのコメントが私共に音色と共に伝わり、わかりやすく、より親しみを感じております。アンコールの「白鳥」染みしました。涙が流れてきました。感謝申し上げます。



12月9日(土) 14:00 開演

出演者 藤原秀章(チェロ) 開原由紀乃(ピアノ)

演奏曲

ベートーヴェン：「魔笛」の主題による7つの変奏曲 変ホ長調 WoO46 / カサド：無伴奏チェロ組曲 / ストラヴィンスキー：イタリヤ組曲 / 黛敏郎：BUNRAKU / プラームス：チェロ・ソナタ第2番 へ長調 Op.99

2017年度コミュニティ事業一覧

	日にち	区分/事業名	対象者/出演者/時間	受益者数	ボランティア数
1	4/8 (土)	アウトリーチ 第2回おさんぽ応援団 お花見散歩と音楽会 場所: アートはるみギャラリー	晴海苑、マイホーム晴海等の利用者/ 50分間 クアルテット・エクセルシオ (弦楽四重奏)	80	0
2	6/28 (水)	アウトリーチ 有明小学校4年生アウトリーチ Meet the 和楽器	4年生3クラス/体験45分間 (各クラス) 鑑賞45分間 (合同) 米澤浩 (尺八) 熊沢栄利子 (箏)	116	2
3	7/3 (月)	アウトリーチ 月島第三小学校4年生アウトリーチ	4年生3クラス/45分間 (合同) TANBRASS (金管五重奏+打楽器)	103	1
4	7/4 (火)	アウトリーチ 日本橋幼稚園アウトリーチ	3~5歳児 20分間 (年少)・30分間 (年中)・30分間 (年長) セミナー修了生による弦楽四重奏 中川直子/羽子岡智美 (ヴァイオリン) 市川友佳子 (ヴィオラ) 松本重優 (チェロ)	111	2
5	7/6 (木)	アウトリーチ 有馬小学校4年生アウトリーチ	4年生3クラス/60分間 (合同) バス・ファイブ (金管五重奏)	83	1
6	7/8 (土)	その他コミュニティ活動 月島草市 場所: 月島西仲通り	地域住民	120	2
7	7/18 (火)	その他コミュニティ活動 ボストン美術館展内覧会 主催: 第一生命グループ 場所: 東京都美術館	内覧会招待客/15分間・45分間 Quartet MIYABI 前田奈緒/北見春菜 (ヴァイオリン) 高橋梓 (ヴィオラ) 印田陽介 (チェロ)	1,000	0
8	7/22 (土) 12:00~17:00	オープンハウス 第一生命ホール オープンハウス 2017 場所: 第一生命ホールおよびトリトンスクエアX棟会議室	地域住民/音楽愛好家 中川賢一 (ピアノ)、ダックスくんらつばの合奏団 (金管五重奏)	816	87
9	① 9/9 (土) 14:00~16:00	レクチャー・ワークショップ 中央区民カレッジ	中央区在住・在勤・在学生	39	0
	② 9/24 (日) 10:00~12:00	「歌の翼に」を歌う体験つきで楽しむ、 クラシック音楽講座		34	2
	③ 10/14 (土) 14:00~16:00	ドイツ歌曲 (リート) の奥深い世界へ 主催: 中央区区民部文化・生涯学習課 場所: ①③トリトンスクエアX棟会議室	講師: 有田栄 (昭和音楽大学教授) アリストター・シェルトン=スミス (バリトン) 岡純子 (ピアノ)	33	0
	④ 10/28 (土) 15:00~17:00	②第一生命ホールリハーサル室 ④第一生命ホール		37	0
10	9/11 (月)	アウトリーチ 佃島小学校4年生アウトリーチ	4年生3クラス/45分間 (各クラス) 浜まゆみ (マリンバ) クリス・フロー (マリンバ、パーカッション)	111	3
11	9/14 (木)	アウトリーチ マイホーム新川アウトリーチ (敬老会)	入居者30分間/通所者40分間 クアルテット・セレシア 前田奈緒/福岡雄也 (ヴァイオリン) 高橋梓 (ヴィオラ) 福岡茉莉子 (チェロ)	80	2
12	9/15 (金)	アウトリーチ 泰明小学校4年生アウトリーチ	4年生2クラス/45分間 (各クラス) 浜まゆみ (マリンバ) クリス・フロー (マリンバ、パーカッション)	43	2
13	9/15 (金)	アウトリーチ 豊海小学校4年生アウトリーチ	4年生3クラス/60分間 (合同) TANBRASS (金管五重奏+打楽器)	101	2
14	9/19 (火)	アウトリーチ 晴海幼稚園アウトリーチ	3~5歳児 20分間 (年少)・30分間 (年中)・30分間 (年長) セミナー修了生による弦楽四重奏 大庭絃子/北見春菜 (ヴァイオリン) 高橋梓 (ヴィオラ) 松本重優 (チェロ)	160	2
15	9/21 (木)	アウトリーチ 明石幼稚園アウトリーチ	3~5歳児/20分間 (年少)・30分間 (年中)・35分間 (年長) 井上紗織 (フルート) 岡田啓 (ファゴット) 松井裕紀子 (ピアノ)	123	1
16	10/13 (金)	アウトリーチ 豊洲保育園アウトリーチ	1~5歳児/15分間 (1-2歳)・20分間 (3歳)・30分間 (4-5歳) セミナー修了生による弦楽四重奏 大庭絃子/北見春菜 (ヴァイオリン) 高橋梓 (ヴィオラ) 松本重優 (チェロ)	106	2
17	10/17 (火)	アウトリーチ 豊洲北小学校4年生アウトリーチ	4年生5クラス/45分間 (各クラス) TANBRASS (金管五重奏+打楽器)	162	2
18	11/14 (火)	アウトリーチ (協力企画) 文化教養学園アウトリーチ	0~5歳児/25分間 (0-3歳)・30分間 (4-5歳) 弦楽四重奏 (アウトリーチセミナー) 松原勝也/今高友香 (ヴァイオリン) 岩下恵美 (ヴィオラ) 福原明音 (チェロ)	120	1
19	11/17 (金)	アウトリーチ 晴海こども園アウトリーチ	0~5歳児/15分間 (0-2歳)・20分間 (3歳)・30分間 (4-5歳) 鈴木絵由子 (ヴァイオリン) 加藤美菜子 (ヴァイオリン、ヴィオラ) 城戸春子 (チェロ) 佐々木大輔 (コントラバス)	150	2

	日にち	区分/事業名	対象者/出演者/時間	受益者数	ボランティア数
20	11/22 (水)	アウトリーチ よちよちコンサート in 晴海児童館	6カ月～3歳児 / 45分間 北見春菜 (ヴァイオリン) 田中愛 (チェロ) 北岡羽衣 (クラリネット) 高橋朋子 (ホルン) 五田詩朗 (打楽器)	50	0
21	12/1 (金)	アウトリーチ 品川児童学園クリスマスコンサート 主催: 第一フロンティア生命、ネオファースト生命、第一生命保険	1～5歳児とその保護者 / 20分間 (1-3歳)・30分間 (4-5歳) 北見春菜/大庭絃子 (ヴァイオリン) 市川友佳子 (ヴィオラ) 田中愛 (チェロ)	28	0
22	12/1 (金) 13:30～16:00 (演奏家対象) 16:10～17:00 (大学関係者対象)	レクチャー・ワークショップ ジャヴィアン先生と語る「アウトリーチ」 ～音楽で地域社会にポジティブな変化をもたらす 主催: 認定NPO法人トリトン・アーツ・ネットワーク/ 上野学園大学 (上野学園大学音楽文化研究センター) 協力 (招聘): 愛知県立芸術大学 場所: 第一生命ホールリハーサル室	若手演奏家 音大教員 等 講師: メアリー・ジャヴィアン (カーティス音楽院ディレクター)	35	0
23	12/8 (金)	アウトリーチ 月島第一小学校 4年生アウトリーチ Meet the 和楽器	4年生2クラス/体験45分間 (各クラス)・鑑賞45分間 (合同) 米澤浩 (尺八) 熊沢栄利子 (箏)	53	1
24	12/14 (木)	アウトリーチ 日本橋小学校 4年生アウトリーチ	4年生2クラス / 45分間 (各クラス) 江崎浩司/横田朱乎/富永和音/宮里安矢 (リコーダー四重奏)	52	2
25	12/19 (火) 12/21 (木)	アウトリーチ 豊洲小学校 4年生アウトリーチ Meet the 和楽器	4年生5クラス/体験45分間 (各クラス)・鑑賞45分間 (合同) 米澤浩 (尺八) 熊沢栄利子 (箏)	189	4
26	12/20 (水)	アウトリーチ リハポート明石アウトリーチ (クリスマス会)	入居者、通所者 / 40分間 小野明子 (ヴァイオリン) 益田正洋 (ギター)	80	2
27	2018/1/8 (月)祝	その他コミュニティ活動 埼玉県 青少年夢のかけはし事業 主催: 埼玉県/第一生命保険株式会社 場所: 埼玉会館小ホール	小学4-6年生の親子 200組 / 90分間 TANBRASS (金管五重奏 + 打楽器)	332	0
28	2018/1/15 (月)	アウトリーチ 月島第二小学校 4年生アウトリーチ	4年生3クラス / 45分間 (各クラス) 田村緑 (ピアノ)	92	2
29	2018/1/19 (金)	アウトリーチ 久松小学校 4年生アウトリーチ	4年生3クラス / 60分間 (合同) バズ・ファイブ (金管五重奏)	93	1
30	2018/1/19 (金)	アウトリーチ 晴海総合高校吹奏楽部アウトリーチ	吹奏楽部員、希望者 / 120分間 バズ・ファイブ (金管五重奏)	50	2
31	2018/1/30 (火)	アウトリーチ 明正小学校 4年生アウトリーチ	4年生1クラス / 60分間 TANBRASS (金管五重奏 + 打楽器)	39	1
32	2018/2/2 (金)	アウトリーチ 中央小学校 4・5年生アウトリーチ	4年生1クラス・5年生1クラス / 45分間 (各クラス) 弦楽四重奏 (アウトリーチセミナー) 松原勝也/今高友香 (ヴァイオリン) 岩下恵美 (ヴィオラ) 福原明音 (チェロ)	50	1
33	2018/2/5 (月)	アウトリーチ 常盤小学校 4年生アウトリーチ	4年生1クラス/体験45分間 鑑賞 / 45分間 (全校児童) 山内利一/由良英寛 (和太鼓)	16	3
34	2018/2/8 (木)	アウトリーチ 阪本小学校 4・5年生アウトリーチ	4年生1クラス・5年生1クラス / 45分間 (各クラス) 堀米綾 (ハープ) 森岡有裕子 (フルート)	44	2
35	2018/2/16 (金)	アウトリーチ 聖路加国際病院アウトリーチ 場所: トイスラー記念ホール	通院・入院の患者様とご家族 / 40分間 弦楽四重奏 (アウトリーチセミナー) 松原勝也/今高友香 (ヴァイオリン) 岩下恵美 (ヴィオラ) 福原明音 (チェロ)	46	2
36	2018/3/8 (木)	アウトリーチ 京橋築地小学校 4年生アウトリーチ	4年生2クラス / 45分間 (各クラス) 弦楽四重奏 (アウトリーチセミナー) 松原勝也/今高友香 (ヴァイオリン) 岩下恵美 (ヴィオラ) 福原明音 (チェロ)	50	1
37	2018/3/17 (土)	その他コミュニティ活動 VOCA展 25周年の企画イベント 主催: 第一生命保険株式会社 場所: 上野の森美術館	招待: 第一生命招待のお客さま親子 / 40分間 Quartet MIYABI 前田奈緒/北見春菜 (ヴァイオリン) 高橋渚 (ヴィオラ) 印田陽介 (チェロ)	42	0
38	2018/3/27 (火)	ロビーコンサート 第一生命ホール ロビーコンサート	地域住民、音楽愛好家 / 90分間 弦楽四重奏 (アウトリーチセミナー) 松原勝也/今高友香 (ヴァイオリン) 岩下恵美 (ヴィオラ) 福原明音 (チェロ) ゲスト: 柳瀬省太 (ヴィオラ) 松本亜優 (チェロ)	72	2
39	2018/3/31 (土)	アウトリーチ 第3回おさんぽ応援団 お花見散歩と音楽会 場所: アートはるみギャラリー	晴海苑、マイホーム晴海等の利用者 / 50分間 吉川健一 (バリトン) 石野真穂 (ピアノ)	109	3
合計				5,084	145

ホール事業と並び、トリトンアーツの活動の2本柱の1つであるコミュニティ活動では、第一生命ホール周辺の地域の皆さまに、音楽を身近に感じていただけるよう音楽をお届けしています。

コミュニティ活動の中でも、小学校に向けての「アウトリーチ」は、音楽で豊かな心が育つよう願って、2001年の団体創設以来継続して取り組んでいます。中央区では、2016年度から教育委員会の



「特色ある教育活動」予算で実施できることとなり、2017年度は区立小学校全16校のうち、14校で実施しました。ここ数年ご要望が多い楽器・編成は、小学生でも金管バンドで取り組む金管楽器や、授業で扱われるようになった和楽器の体験が入ったプログラムですが、音楽の先生のご希望に応じてハープとフルートなどの新たな編成にも取り組んでいます。



私たちは日本のアウトリーチを牽引する存在として、常により良いプログラムを開発したいという思いを持っていますが、アウトリーチを学ぶ若手演奏家支援として毎年行っている「アウトリーチセミナー」の他、アメリカのカーティス音楽院のコミュニティ活動ディレクターであるメアリー・ジャヴィアンさんを招いてのワークショップを実施し、多くの演奏家や関係者とアウトリーチについて考える機会を持ちました。



(1) アウトリーチ

第一生命ホールを拠点に中央区内および近隣の江東区のエデュケーション機関や病院、福祉施設など普段生の芸術文化に触れる機会が少ないうち皆さまのところへ演奏家と伺い、音楽をお届けしています。アウトリーチセミナー (P.39) を含む

小学校アウトリーチ

目的 近隣の小学校で毎年継続してアウトリーチを行うことで、ホールの近くに住む子どもたちが在校中に一度は生の音楽に触れる機会をもってもらいたいと思っている。具体的には、抽象的な考え方ができるようになってくる小学4年生の時期に、身近に生演奏に触れてもらい、音楽の楽しさや感動する気持ちを味わってもらおう。また、音楽室という空間で演奏を聴くだけでなく、演奏家とコミュニケーションを取ることで音楽への好奇心を持ってもらう。

バズ・ファイブ (金管五重奏)

内容 両校とも brass band 部の活動も盛んな学校で、金管楽器により親しみ興味を持ってもらうことをねらいとして実施。金管楽器の音の出る仕組みや、各楽器、奏者の魅力が伝わる曲の演奏をじっくり聴いてもらった他にも、有馬小学校では曲の題名を当ててもらおうクイズを盛り込んだり、久松小学校ではスーザ作曲のマーチを一人ずつパラパラに演奏した後に五重奏で演奏することで、アンサンブルの仕組みや楽しさを味わってもらった。終了後には、「早く自分も楽器が吹きたい!」「今演奏したら、すごくうまく吹ける気がする!」といった感想も出て、子どもたちは60分間とても真剣に聴き、心から音楽を楽しんでいた。



参加者の声 バズファイブの全員がとても楽しそうに演奏していたので、聞いているだけで楽しかった。/ 迫力があって胸に響いた。自分もあんなに楽器が吹けたら楽しいと思いました。/ コンサートを聞いて5つの楽器と友達になれたように感じました。



7月6日(木) 有馬小学校4年生アウトリーチ

2018年1月19日(金) 久松小学校4年生アウトリーチ

TANBRASS (金管五重奏 + 打楽器)

内容 クラシック、ジャズ、ミュージカルなど様々なジャンルの曲をプログラムに入れて金管楽器の魅力を様々な角度から紹介した。月島第三小学校と豊海小学校では、各楽器の音色や役割、管の長さの違いを楽しみながら学んでもらう内容とした。豊洲北小学校と明正小学校では「音楽で世界旅行」と題し、作曲された国ごとに特徴のある曲を聴いてもらい、楽しみながらその違いを感じてもらった。



トロンボーンの管の長さのホースで演奏

参加者の声 どの楽器もすごくおもしろかったし、知らないことがわかってよかったです。／ぼくもあんな合奏をしてみんなを笑わせたいです。音楽をきかせて世界をよくすれば平和になると思います。世界のテロがある場所でいい音楽をきかせて、全体の国が平和になりましたって言われたいです。



7月 3日 (月) 月島第三小学校 4年生アウトリーチ
9月 15日 (金) 豊海小学校 4年生アウトリーチ

10月 17日 (火) 豊洲北小学校 4年生アウトリーチ
2018年 1月 30日 (火) 明正小学校 4年生アウトリーチ

浜まゆみ (マリンバ) クリス・フロー (マリンバ、パーカッション)

内容 小学校で人気のあるマリンバ。浜まゆみさんとアメリカから来日していたクリス・フローさんの共演で、マリンバの他にブラジルやアフリカ、トルコの打楽器の紹介もあり、児童たちは見たことのない楽器や普段日本ではあまり体感しないリズムに興味津々の様子だった。ボディパーカッションやコール&レスポンスのコーナーもあり、音楽を身体全体で感じることのできるプログラムだった。



マリンバの振動を感じながら迫力ある演奏

参加者の声 わたしはコンサートの音がとても大きくはげしく感じました。この音を第一生命ホールで聞いたらみんなにきれいに聞けると思いました。／「剣の舞」は自分たちが使っている木琴でもあんな曲がひけるのかと思ってなぜかうれしくなった。／クリスさんがタイコをたたかせてくれたり、マリンバをひきながら生徒のほうを笑顔で見たりするのがとってもすてきで、わたしも思わず笑いたくなりました。



子どもたちの近くに行き、珍しい楽器を目の前で演奏



9月 11日 (月) 佃島小学校 4年生アウトリーチ

9月 15日 (金) 泰明小学校 4年生アウトリーチ

弦楽四重奏 *アウトリーチセミナー (P.39 をご参照ください)
[松原勝也/今高友香(ヴァイオリン) 岩下恵美(ヴィオラ) 福原明音(チェロ)]

内容 ラヴェルの弦楽四重奏曲、第1楽章の中から一部を取り出して聴きながら、「気持ち」、「風景」、「天気」を想像してもらった。「風景」をイメージした時には、「陽が沈んだ海みたい」「宮殿をさまよっていた」「みんなでダンスしている感じ」などの意見が出て、同じ音楽を聴いても十人十色それぞれ違うイメージを持っているのは大きな発見だった。他の人のイメージを聞いて音楽の聴き方が広がったり、またその言葉が演奏にも影響し、演奏者と児童が相互に音楽を作っていくようなアウトリーチとなった。最後には、第1楽章を通して聴いてもらい、それぞれが自由な心象風景を追いながら曲を聴く楽しみを味わってもらった。



参加者の声 目を閉じて音楽が始まった瞬間、震えが止まらなかった。まるで雷に打たれたような初めての感覚にとまどいと感動があった。音楽は人々の気持ちがつまったもので、それを聴いた人々は感動し、心を動かされるのだと思った。/目をつぶると心の中に風景や天気が浮かんできて、自分の中で物語ができあがった。音楽だけでそれができると驚いた。もっと音楽のことを知りたくなった。



曲を聴いて浮かんだイメージはみんなそれぞれ

2018年2月2日(金) 中央小学校4・5年生アウトリーチ

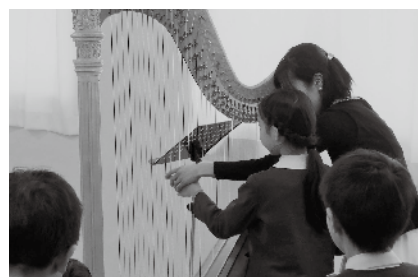
2018年3月8日(木) 京橋築地小学校4年生アウトリーチ

堀米綾(ハープ) 森岡有裕子(フルート)

内容 まず音楽室に入ると、グランドハープが中央に置いてあり、初めてハープを近くで目にした子どもたちから、驚きの声が上がっていた。ハープとフルートの二重奏でその音色を味わってもらう他にも、物語が付随している音楽のキーワードだけ提示して、今どこを演奏しているのか想像しながら聞いてもらったり、子どもたち全員にハープの弦を鳴らしてみる体験してもらったり、色々なアプローチでハープとフルート、それぞれの魅力を伝え、演奏や音楽への興味、楽しみ方を深めてもらった。



参加者の声 森の中で生き物たちと白いドレスを着て踊っているような演奏でした。/どの曲もその曲の風景がひきはじめに「パツ」と広がりました。/私が一番好きだった曲は「間奏曲」(J. イベール)です。ハープの少し早い部分とフルートの弾んだ感じがとても合っていたからです。



身長よりも大きなハープを全員が体験

2018年2月8日(木) 阪本小学校4・5年生アウトリーチ

山内利一／由良英寛 (和太鼓)

内容 和文化の体験に力を入れている常盤小学校では毎年和楽器の体験ワークショップと鑑賞を実施している。今年は「和太鼓」を取り上げ、学校の楽器も使用しながら体験ワークショップでは1曲演奏できるようになった。鑑賞の時間では、4年生が全校児童の前でプロの演奏者との共演を披露した。また、和太鼓といっても様々な形があり、それぞれの音色を活かした曲が演奏され、日本の伝統音楽に対するイメージが覆るほど迫力のある楽しい演奏会となった。



いろんな種類の和太鼓。

参加者の声 太鼓をたたいているうちに気持ちが熱くなり、どんどんやったら終わったら気持ちがよくなって、たたかせてもらってよかったなと思いました。演奏してくれている時も、やっぱりプロの人も気持ちが熱くなって、おうえんされたらうれしいんだなと思いました。和楽器は人の心を動かしてくれるものだとわかりました。／自分がやってみてよくできたと思いました。でも先生がやっているのを見て、ぼくは口があくほどすごくてびっくりしました。

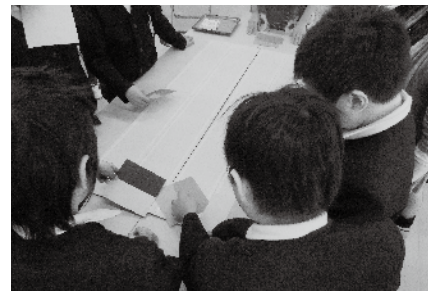


熱の入った和太鼓体験

2018年2月5日(月) 常盤小学校4年生アウトリーチ

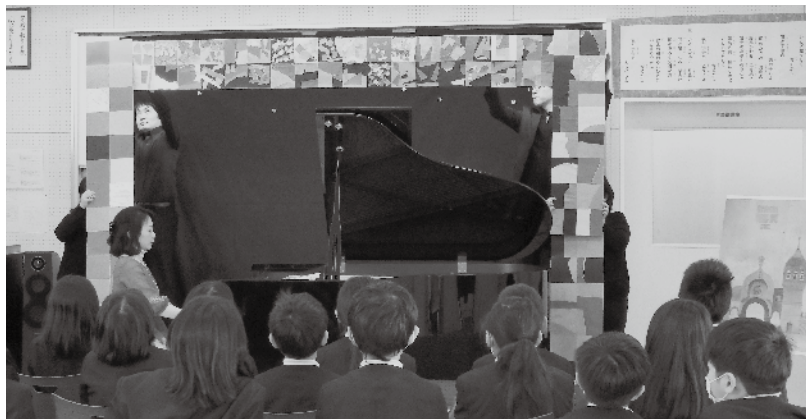
田村緑 (ピアノ)

内容 ムソルグスキー作曲の「展覧会の絵」の中から、プロムナードのバリエーションを3曲聴いてもらい、音楽を聴いて感じた色を折り紙で選ぶワークショップを実施。その後、児童たちがワークショップで作った作品を見ながら、「展覧会の絵」(抜粋15分程度)を聴いてもらった。「展覧会の絵」のモチーフになっているハルトマンの絵画も見ながら、まさに展覧会を見ながら音楽を聴いているようなコンサートとなり、15分という長い曲でも児童たちは音楽と絵と自分たちの作品にいろいろな想像力を膨らませて聴いている様子だった。



音楽からイメージした折り紙の色を選びます

参加者の声 音楽は人によって感じたことがちがうことが不思議に思った。／絵を音楽に変えたムソルグスキーはすごい！／わたしはピアノをやっていましたが、それほど好きではありませんでした。田村先生の弾く音を聞き、本当の音楽のあつりよくにおされて、聞く前の自分から何かがなくなったような感じになりました。いまでもうふんしています。／田村さんのコンサートを聞いていると気持ちが伝わってきて、周りの風景がハルトマンの書いた絵の中に入るような気分になりました。



子どもたちの折り紙を貼り合わせた門が音楽にあわせて立ち上がる。右側はハルトマンの絵画

2018年1月15日(月) 月島第二小学校4年生アウトリーチ

リコーダー四重奏 [江崎浩司/横田朱乎/富永和音/宮里安矢]

内容 児童たちにとって身近な楽器リコーダーの四重奏を楽しんだ。とくに、テナーやバスは初めて見る子が多く、「あれもリコーダーなんだ」と驚いている様子だった。合奏をするコーナーでは、救急車の音マネや「ソラシドレ!」と早く吹く方法などを教わり、みんな一生懸命練習をしていた。江崎さんの軽快なお話で子どもたちも盛り上がった。「良かったらブラボーって言うんだよ。」と教わり、最後は「ブラボー!!」の掛け声があちこちから聞こえた。

参加者の声 指の動きが早いのと、リコーダーを2本持って吹いたのがすごかったです。リコーダーについてもっといろいろ知りたくなりました。/リコーダーにはたくさんの種類があっておどろきました。/わたしは音楽のコンサートに行ったことはありませんが、今回の授業でコンサート会場に行った感じがしました。生演奏が聞いてうれしかったです。

12月14日(木) 日本橋小学校4年生アウトリーチ



いろいろな大きさのリコーダーにびっくり



素晴らしい演奏に「ブラボー!」の声

Meet the 和楽器/米澤浩(尺八) 熊沢栄利子(箏)

内容 1クラスごとの箏体験と、全クラス合同での箏と尺八によるミニコンサートの2部構成。箏体験ではペアで1つの箏を使って姿勢や音の出し方の説明から始まり、最終的にはリレー形式で全員で協力して「さくらさくら」を演奏した。ミニコンサートではアニメの曲から、箏と尺八の二重奏曲として有名な「春の海」、20世紀後半に作られた「双魚譜」などを講師が演奏した。楽器演奏の難しさとおもしろさを実感してもらうことで興味関心をひき出し、その上でプロの演奏家の技術と芸術性の高さを実感してもらった。

参加者の声 最初は大きな音が出せませんが教えてもらって出せるようになりました。/さくらリレーは簡単なおもしろいところとすごく難しいところあって楽しかったです。/お箏や尺八の色々な音色を聴いて、和楽器ってこんなにおもしろいんだと思いました。



二人一組になって教えあひながら練習



6月28日(水) 有明小学校4年生アウトリーチ
12月8日(金) 月島第一小学校4年生アウトリーチ

12月19日(火)・21日(木) 豊洲小学校4年生アウトリーチ

小学校アウトリーチ実施後のアンケート

児童用アンケート集計結果（16校）

回答者数：1,283人（人）

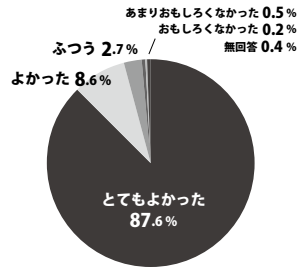
1. 今日のコンサートはどうでしたか？		
とてもよかった	1,124	87.6%
よかった	110	8.6%
ふつう	34	2.7%
あまりおもしろくなかった	7	0.5%
おもしろくなかった	2	0.2%
無回答	6	0.4%

2. コンサートを聞いて、今までより音楽が好きになりましたか？		
とても好きになった	718	56.0%
好きになった	425	33.1%
どちらともいえない	112	8.7%
好きにならなかった	12	0.9%
まったく好きにならなかった	10	0.8%
無回答	6	0.5%

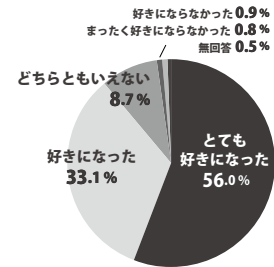
3. もっとコンサートに行ってみたいと思いましたか？		
とても思った	698	54.4%
すこし思った	407	31.7%
どちらともいえない	115	9.0%
あまり思わなかった	32	2.5%
まったく思わなかった	21	1.6%
無回答	10	0.8%

4. 晴海トリトンスクエアの中にあるコンサートホール（第一生命ホール）に行ったことがありますか？		
ある	262	20.4%
ない	628	48.9%
わからない	386	30.1%
無回答	7	0.6%

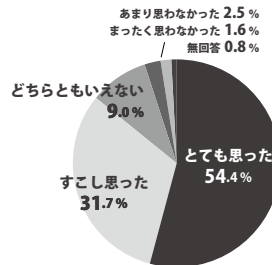
1. 今日のコンサートはどうでしたか？



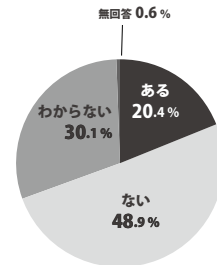
2. コンサートを聞いて、今までより音楽が好きになりましたか？



3. もっとコンサートに行ってみたいと思いましたか？



4. 第一生命ホールに行ったことがありますか？



高等学校でのアウトリーチ

目的 高校生に生の音楽の素晴しさやアンサンブルの面白さを伝え、演奏家の音楽に対する姿勢や技術、想いを学びとってもらう。

バス・ファイブ(金管五重奏)

内容 吹奏楽部員に約2時間にわたってお届けした3部構成のアウトリーチ。第1部は「宝島」の合同合奏と演奏指導。第2部はバス・ファイブによる金管五重奏のコンサート。第3部は吹奏学部生徒による金管五重奏の演奏と、それに対してバス・ファイブからアドバイスをを行った。生徒からは演奏に関する様々な質問が出て、各メンバーから「息の使い方」「基礎練習の方法」など具体的で実践的なアドバイスをを行い、楽器を演奏する上での大切なポイントをそれぞれに発見してもらった。

参加者の声 自分たちが吹いていた同じ舞台上でプロの方の演奏を聴くのは新鮮で、学ぶことがたくさんありました。私は木管ですが、息の使い方などたくさん参考になりました。これからの練習に生かしていきたいと思います。/表現の仕方やどのように吹くのが良いのかも分かりました。



マンツーマンで実践的な指導

2018年1月19日（金）晴海総合高校吹奏楽部アウトリーチ

幼稚園・保育園等でのアウトリーチ

目的 自由な感性を持つ乳幼児に、本物の音に身近に接し、音楽の楽しさを感じてもらう。また、アウトリーチセミナー修了生が、感情を素直に表現する乳幼児を対象とした場を経験する事により、修了生の技術のブラッシュアップの機会とする。

セミナー修了生による弦楽四重奏

A [中川直子/羽子岡智美(ヴァイオリン) 市川友佳子(ヴィオラ) 松本亜優(チェロ)]
B [大庭絃子/北見春葉(ヴァイオリン) 高橋梓(ヴィオラ) 松本亜優(チェロ)]

内容 A: ハイドン「皇帝」のメロディを使い各楽器の紹介をしたり、ドヴォルザーク「アメリカ」第4楽章などの名曲を様々な方法でナビゲートしながら聴いてもらった。コンサート後には年長さんからは「もう終わりなの?もっと聞きたい」という声上がるほど、音に神経を研ぎ澄ませ楽しんで聴いてもらった。

B: 子どもたちがよく知っている「きらきら星」を演奏しながら入場したり、楽器で「救急車の音」「船の汽笛の音」「汽車の走る音」を出して、何の音が当ててもらったり子どもたちの興味関心をひきながら、最後はモーツァルトの弦楽四重奏曲「狩」を聴いてもらった。

参加者の声 毎年、生の演奏を身近に聴くことができ貴重な体験になっています。一緒に歌う曲もあり嬉しいです。/ 4歳児クラスはコンサートに刺激を受けて、お部屋に戻った後に各々自分の好きな楽器を手に持って音を出して遊んでいました。(先生の声)



A: 真剣に聴き入る子どもたち



B: 子どもたちの反応をみながら進めていきます



B: 演奏にあわせて手拍子する子ども

A: 7月4日(火) 日本橋幼稚園アウトリーチ

B: 9月19日(火) 晴海幼稚園アウトリーチ
10月13日(金) 豊洲保育園アウトリーチ

井上紗織(フルート) 岡田啓(ファゴット) 松井裕紀子(ピアノ)

内容 フルート、ファゴット、ピアノ、それぞれの楽器の魅力を紹介しながら、年少(20分)、年中(30分)、年長(35分)の3回アウトリーチを行った。「アメリカの主題による二重奏曲」では曲の中に「アルプス一万尺」のメロディを探してもらったり、オペラ「魔笛」の「夜の女王のアリア」ではどんな歌詞がついている音楽が想像してもらったり、演奏に合わせて一緒に歌ったり体を動かしたりと様々なアプローチで音楽を楽しんでもらった。

参加者の声 子どもたちが「楽しかった。また来てくれるかな?」と喜んでいました。親もゆっくりと生演奏が聞けて日頃の疲れが癒されました。(幼稚園PTA代表の方より)



知らない曲でもいろいろな想像をして楽しく聴いていました



「アルプス一万尺」の手遊びで曲に親しみやすくなるよう演出

9月21日(木) 明石幼稚園アウトリーチ

弦楽四重奏 ＊アウトリーチセミナー（P.39 をご参照ください）
 [松原勝也/今高友香（ヴァイオリン） 岩下恵美（ヴィオラ） 福原明音（チェロ）]

内容 0～3歳と、4～5歳児に年齢で分けて2回実施。弦楽四重奏版「もみじ」（編曲：松原勝也）や、ラヴェルの弦楽四重奏曲を聴いてもらい、「演奏者の4人が音でおしゃべりをしていて、4人の音が重なって面白い音楽になる」といったことを感じてもらった。特に3～5歳は、園児もヴァイオリンを全員が習っているためか、演奏者の技術の高さに驚いたり、ハーモニーの重なりを聴いて違いを感じたり素直に深く音楽を感じてくれているようだった。

参加者の声 プログラムの曲目を見た時には、難しい曲を演奏するのだなと思ったけれど、お話を交えながら演奏してもらってアウトリーチで聴いてみたら感動し、また子どもたちもとても喜んで音楽を素直に受け止めていた。（先生より）



11月14日（火）文化教養学園アウトリーチ

鈴木絵由子（ヴァイオリン） 加藤美菜子（ヴァイオリン/ヴィオラ）
城戸春子（チェロ） 佐々木大輔（コントラバス）

内容 4種類すべての弦楽器を紹介し、それぞれの特徴に合った音楽を聴いてもらった。とくにコントラバスの大きさには喜ぶ子や泣き出す子など様々な反応が見られた。この編成でのオリジナル曲を聴いて欲しいという演奏者の思いで、ロッシェニ作曲の弦楽のためのソナタが演奏された。知らない曲でも子どもたちはリズムに乗って楽しく聴いていた。

参加者の声 コントラバスの大きさに子どもたちが圧倒されていて、また、チェロやコントラバスなど低音の音色にも子どもたちは興味津々な様子で良かったです。（先生より）



11月17日（金）晴海こども園アウトリーチ

北見春菜（ヴァイオリン） 田中愛（チェロ） 北岡羽衣（クラリネット）
高橋朋子（ホルン） 五田詩朗（打楽器）

内容 第一生命ホールのロビーで行っている「よちよちコンサート」の公開リハーサルとして、児童館に来館する6ヶ月～3歳児のお子さんとその保護者25組限定で、音楽を間近に全身で楽しんでもらった。第一生命ホールの「ロビーでよちよちコンサート」に行きたいけれど、少人数のためなかなか当選しないという声も聞かれていたため、人気のプログラムをより多くの方にお届けできる機会となった。

参加者の声 とてもきれいな演奏に子どもたちも真剣に聴いているようでした。子どもがいてゆっくり音楽をきく機会がなかったので、久しぶりにステキな音をきけて楽しかったです。子どもも音楽が好きで、楽しそうにきいたり、音を出したりしてまたぜひ行きたいです。



11月22日（水）よちよちコンサート in 晴海児童館

介護・福祉施設、病院でのアウトリーチ

目的 コンサートホールまで足を運ぶことが難しい高齢の方や、入院、通院中の患者様やそのご家族、施設で働く職員のみならず、生の音楽を届け非日常の楽しみを味わっていただく。

クアルテット・セレスシア

【前田奈緒／福崎雄也（ヴァイオリン） 高橋梓（ヴィオラ） 福崎茉莉子（チェロ）】

内容 「トリトン晴れた海のオーケストラ」メンバーである福崎雄也が演奏する弦楽四重奏団。モーツァルトの「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」やハイドンの「皇帝」より第2楽章などご年配の方に聴き馴染みのあるプログラムで皆さんゆったりと耳を傾けている様子だった。「秋の歌メドレー」では、演奏を聴きながら童謡を口ずさむ方も多く、最後の「ふるさと」ではヴァイオリンの前田さんが皆さんの間を歩きながら演奏をして喜んでいただいた。

参加者の声 音楽を聴きながら身体を揺らしたり、ハイドンの「皇帝」ではメロディと一緒に口ずさむ方がいて驚いた。ご年配の方はクラシック音楽をよく知っている方も多いと感じた。（サポーターより）

9月14日（木）マイホーム新川アウトリーチ（敬老会）



小野明子（ヴァイオリン） 益田正洋（ギター）

内容 ヴァイオリンとギターのデュオで「愛のあいさつ（エルガー）」や「ユーモレスク（ドヴォルザーク）」、クリスマスに因んで「アヴェ・マリア（シューベルト）」などを聴いていただいた。弦楽器同士の繊細な音とお二人の息の合った演奏に皆さん耳を澄まして聴き入っている様子だった。

参加者の声 普段あまり長時間じっと座ってられない認知症の方々が最後まで熱心に聴いていたのが印象的でした。クラシック音楽に親しみのある年代なのかもしれませんね。（施設より）

12月20日（水）リハポート明石アウトリーチ（クリスマス会）



弦楽四重奏 *アウトリーチセミナー（P.39をご参照ください）

【松原勝也／今高友香（ヴァイオリン） 岩下恵美（ヴィオラ） 福原明音（チェロ）】

内容 「アウトリーチセミナー 2017」講師と受講生により、聖路加国際病院トイスラー記念ホールで、入院、通院の患者様とご家族に向け、アウトリーチを実施。ラヴェルの弦楽四重奏曲へ長調と、「翼をください」（弦楽四重奏版 作曲：村井邦彦、編曲：松原幸広）をお届けした。療養中でコンサートホールに出掛けるのが難しい方々に、身近に生の音楽に触れ非日常の時間を過ごしていただいた。

参加者の声 まだ治療が続くのですが励みになりました。久しぶりに生演奏を聴いて頭がすっと軽くなりました。／自然の中に連れていかれたような気分でした。森や海の底のような深みのあるサウンドでした。／音は奏でられた瞬間に消えてしましますが魂には刻まれます。エネルギーを頂きました。

2018年2月16日（金）聖路加国際病院アウトリーチ



地域との協力アウトリーチ

目的 高齢者に外出の機会の提案や散歩などの支援を行う市民団体「おさんぽ応援団」との共催で、晴海地区の特別養護老人ホーム利用者に桜並木を眺めながらのお散歩と音楽会を楽しんでいただく。

クアルテット・エクセルシオ

【西野ゆか/山田百子(ヴァイオリン) 吉田有紀子(ヴィオラ) 大友肇(チェロ)】

内容 各楽器(ヴァイオリン・ヴィオラ・チェロ)の紹介を挟みながら、シューベルトの弦楽四重奏曲第12番「四重奏断章」や、童謡メドレー、八木節など様々なジャンルの曲を弦楽四重奏の響きでお届けした。最後には「ふるさと」を演奏に合わせて一緒に歌っていただいた。

参加者の声 ほとんど聴く機会のなかった弦楽四重奏の生演奏は感激しました。八木節を演奏されたのは驚きました。(おさんぽ応援団ボランティアより)



4月8日(土) 第2回おさんぽ応援団 お花見散歩と音楽会

吉川健一(バリトン) 石野真穂(ピアノ)

内容 日本の歌やイタリア歌曲、オペラ・アリアを通してバリトンの歌声を堪能していただいた。風船を使って振動を感じてもらうことで「歌声を触る」体験があったり、「ブラーボ!と言ってみましょう」とみんなで大きな声を出したりと、参加型の要素もありながら、最後には恒例の「ふるさと」の合唱で締めくくった。

参加者の声 聴いて楽しむだけでなく、参加する機会もある、楽しい音楽会でした。来年もこの場所に集い、共に音楽を楽しみたいという思いを、お客様だけでなく、このイベントに携わった全ての人が共有できた気がしました。(サポーターより)



2018年3月31日(土) 第3回おさんぽ応援団 お花見散歩と音楽会

第一生命保険 マッチングギフトプログラム を利用したアウトリーチ

目的 第一生命保険株式会社が、所属ごとに行う地域社会貢献活動のひとつとして、各所属のコーディネートによりトリトンアーツがアウトリーチを提供

北見春菜/大庭絃子(ヴァイオリン) 市川友佳子(ヴィオラ) 田中愛(チェロ)

内容 今年は弦楽四重奏で訪問し、童謡やクリスマスの曲の他、弦楽四重奏の曲も聴いていただいた。楽器の紹介では目の前に楽器がきて、じっくりと見ている子が多かった。4・5歳児は事前に第一生命社員と作った手作りカスタネットで作った1曲共演をした。

参加者の声 子どもがこんなに音楽を聴けると思わなかった。他の子ども向けコンサートにも連れていってみたいと思います。(保護者より) / 親子で生演奏に触れるよいきっかけになっているので毎年楽しみにしています。(施設より)



楽器紹介では
楽器をじっくり
みていました



12月1日(金) 品川児童学園クリスマスコンサート
主催: 第一フロンティア生命、ネオファースト生命、第一生命保険

(2) 第一生命ホールオープンハウス

ホールを1日開放して、どなたでも無料で自由に入場できるホールのお祭りです。ホールステージでのコンサートはもちろん、普段は入ることのできないバックステージツアーや楽器体験など、サポーター（ボランティア）と協同で行う、大規模イベントです。（サポーターについては、P.37 参照）

第一生命ホール オープンハウス 2017 感じよう、楽しもう、音楽とホールを！

目的 近隣地区で増加する、とくにファミリー層をメインターゲットとして、これまでホールに来たことのない方に身近に素晴らしいホールがあり、音楽を楽しめるということを知ってもらい、通常のコンサートにも来場してもらうきっかけとする。

来場者の声 毎年とても楽しみにしています。／音楽を聴いて、触って、学んで、とっても楽しめました。親子で良いイベントでした。／「好きですトリトン！」いい曲ですね。スタッフの方々が親切でした。



7月22日（土）12：00～17：00

出演者 中川賢一（ピアノ） ダックスくんとらっぱの合奏団（金管五重奏）

きいてみよう！

中川賢一 ピアノの魔法！コンサート

客席参加型のコンサートを、小さなお子さまを主とした幅広い年齢層の方々にお楽しみいただいた。



暗闇の中で聴く



図形で出来た楽譜を見ながら聴く



ピアノの内部構造をスクリーン投影



「音楽の実験室」で作ったカスタネットを使って中川氏と共演

© 池上直哉

ダックスくんとらっぱの合奏団 ファミリーコンサート



© 越間有紀子

2階グランドロビーにて0歳～3歳のお子さまと保護者を主な対象とした金管五重奏のコンサート。20分×2回開催し、計310名が参加した。

「好きですトリトン！」歌詞募集 ／みんなで歌おう！



© 池上直哉

「音楽・晴海・第一生命ホール」をテーマにしたイメージソングをつくるプロジェクト。小川聡（ダックスくんとらっぱの合奏団）が作曲した「好きですトリトン！」の2番の歌詞を一般募集し、フィナーレで客席の皆さんと一緒に初演した。

体験しよう!

裏方の仕事をみてみよう



© 池上直哉

小学4～6年生を対象に、ホールを支える裏方スタッフの仕事を体験して頂いた。実際に照明や音響の機材を操作してみるなど、夏休みの自由研究にも役立つような内容で実施した。

舞台の上で歌ってみよう! 「好きですトリトン!」



© 池上直哉

フィナーレで歌う「好きですトリトン!」を舞台の上で練習。当初はソプラノの大森智子さんに指導していただく予定であったが、急病で出演することができなくなったため、急ぎよトリトンアーツスタッフが進行を行った。

フルートはじめて体験



© 越間有紀子

フルート講師の丁寧な指導のもと、楽器の構え方から始まり、最後に曲の一部を全員で合奏できるまでに上達。2回にわけて37名が参加し、充実した45分の体験となった。

(協力:株式会社村松フルート製作所)

やってみよう!

フルートをさわってみよう!



© 越間有紀子

小さなお子さまから大人まで計164名が来場し、気軽にフルートにさわって音を出しました。また、講師による模範演奏やフルートに関する展示、写真撮影コーナーも設置し、フルートを身近に感じていただいた。

(協力:株式会社村松フルート製作所)

音楽の実験室



© 越間有紀子

ペットボトルや牛乳の空き容器などを再利用、マラカスとカスタネットを手作りする「楽器作り体験」と、「ドクター松山(サポーター)の音の不思議解説ショー」を開催。ウィングラスやホースなど、身近な材料でも不思議な音が出て音楽になる面白さを体感してもらった。

弦楽器をさわってみよう!



© 越間有紀子

ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、さらにヴァイオリンとチェロは分数楽器も用意して、おひとりあたり5分程度、楽器を構えて、音を出して頂いた。延べ約250名の方にご参加頂いた。また途中、ジュニア・フィルハーモニック・オーケストラのメンバーによる模範演奏を披露し、多くの方に演奏も楽しんで頂いた。

(協力:ジュニア・フィルハーモニック・オーケストラ)

バックステージツアー



© 越間有紀子

楽屋や舞台袖など、普段は見るのできないホールの裏側を各回15名でまわる20分間のツアー。サポーターがツアーガイドとして引率し、計175名が参加した。

音楽クイズラリー



© 越間有紀子

入場時に配布したパンフレットに掲載。第一生命ホールの中を巡ってヒントを集めて、クイズラリーを通して楽しく音楽の事やトリトンアーツの活動を知ってもらえる内容とした。

プロジェクトサポーター(7名)



3月よりチラシ、ポスターなどの宣伝物の制作や、準備、当日の運営などをスタッフと共にいった。

(3) ロビーコンサート

第一生命ホールロビーにて、多くの方に音楽を楽しんでいただくことを目的に実施しています。

弦楽四重奏 ＊アウトリーチセミナー（P.39 をご参照ください）
【松原勝也／今高友香（ヴァイオリン） 岩下恵美（ヴィオラ） 福原明音（チェロ）】

目的 講師と弦楽四重奏を組み、1年を通して弦楽四重奏と向き合ってきたアウトリーチセミナー受講生が、一般のお客様を対象とした室内楽ロビーコンサートに出演することで、さらにアンサンブル能力を磨き、作品への理解と表現力の向上を目指す。

内容 コンサートの始めに、「アウトリーチセミナー 2017」で小学校2校（中央小、京橋築地小）で実施してきたアウトリーチの様子（音楽を聴いて自由に心象風景を感じてもらったこと）を講師である松原勝也氏が報告。その後、小学校で演奏した、ラヴェルの弦楽四重奏曲へ長調を披露。後半はゲストを迎え、チャイコフスキー：弦楽六重奏曲二短調「フィレンツェの思い出」作品70をお届けした。

参加者の声 松原氏の最初のお話で、子どもたちとの交流の様子は、とても興味深く共感いたしました。／音楽を知っているか、どこまで理解しているかということよりも、自分自身が感じたままでのよいのだと、改めて思っています。



2018年3月27日（火）第一生命ホールロビーコンサート

ゲスト：柳瀬省太（ヴィオラ） 松本亜優（チェロ）

コミュニティ活動レポートピックアップ

4年生はじめてのクラシック 中央区立明正小学校 ＊P.22 参照

今回、明正小学校にやってきたのはおなじみの金管五重奏&打楽器ユニット〈TANBRASS（たんぶらす）〉。明正小学校はプラスバンドに力を入れている学校でもあり、「4年生はじめてのクラシック」アウトリーチを通して金管楽器の魅力を知ってもらいたい！という先生の願いもありました。開演の前に、子どもたちは今か今かと待ちきれない表情です。



いよいよ開演、TANBRASSのみなさんが楽器を持って登場してきました。今日のテーマは「TANBRASSと音楽世界旅行」。いろいろな時代や国、ジャンルの音楽を巡ります。スタートはイギリスで、ヘンデルの〈水上の音楽〉です。まっすぐと伸びやかな音がお腹にまで響いてくるのがわかり、また楽器の移り変わりや変化する音色を、子どもたちは楽しんで集中して聴いていました。曲や作曲家の説明も挟みながら、ヨーロッパを中心に音楽世界旅行は続いて行きます。



そしてお待ちかねの楽器体験のコーナー。アドバイスを受けながら各楽器に挑戦です。なかなか音を出すのが難しい金管楽器ですが、みんな上手に力強い音を出していました。お友だちが頑張っている姿を見ていた子どもたちも、目をキラキラさせながら音が出るたびに大きな拍手を送っていました。締めは演奏者の皆さんも一緒に、全員で教わった「バズィング」を使って大合奏。強弱の変化をつけたりしながら、金管アンサンブルの楽しさを一緒に味わいました。



最後はTANBRASS特別バージョンで送る〈シング・シング・シング〉（子どもたちが授業で演奏をしたことがあるということで先生からリクエストをいただいていた）。手拍子をしながら、みんなノリノリで聴き入っていました。

サポーターの感想

それぞれの楽器の魅力、そしてそれらが重なり合った時の音の厚みの面白さ、そしてみんなで音楽を共有する楽しさを、全身で感じることでできた充実した時間でした。この体験が、今後の子どもたちの音楽活動に繋がっていくといいな、と思います。

サポーター三品真央 観察レポートより

2018年1月30日（火）

出演 TANBRASS（金管五重奏+打楽器）

内容 ヘンデル：水上の音楽より／パッハ：主よ人の望みの喜びよ／楽器紹介／チャイコフスキー：白鳥の湖より情景／ヴェルディ：アイーダより凱旋行進曲／

ドビュッシー：亜麻色の髪の乙女／ビゼー：カルメンよりアラゴネーズ／日本童謡：昔話三太郎メドレー／楽器体験／バズィング・ワルツ（マウスピースを使ってみんなでバズィングの練習）／ルイ・プリマ：シング・シング・シング／アメリカ民謡：リパブリック讃歌

④ レクチャー、ワークショップ

第一生命ホールで行っている公演やクラシック音楽をよりいっそう皆さまに広く楽しんでいただくためのレクチャーや、より専門的なワークショップを実施しています。

中央区民カレッジ 「歌の翼に」を歌う体験つきで楽しむ、クラシック音楽講座 ドイツ歌曲（リート）の奥深い世界へ

目的 クラシック音楽をあまり良く知らないがもっと知りたい方、コンサートに足を運んでみたい方、もっと音楽を深く楽しみたい方を対象に、音楽の楽しさを知って頂き、音楽を分かりやすく理解してもらう事を目的として実施。

内容 全4回の連続講座。第4回、第一生命ホールでの公演（出演：白井光子&ハルトムート・ヘル）鑑賞を目的とし、ドイツ・リートの歴史や楽しみ方を、昭和音楽大学教授の有田栄先生にご講義頂いた。同時に、バリトン歌手のアリスター・シェルトン・スミスによる実演も行った。第2回では、第一生命ホールのバックステージツアーやリハーサルの見学、第3回ではアリスター氏の指導でメンデルスゾーン作曲「歌の翼に」の歌唱体験を行った。受け身の座学だけでなく、体感して頂く講座であった。

参加者の声 理論・鑑賞・生歌曲が聞ける等バラエティーに富んでいるノリートについての説明と実際に歌って頂きなんとぜい沢な講座ノ講師の方の豊富な知識、高い話術とてもわかり易く興味深い内容だった



第2回バリトンのアリスター・シェルトン・スミスによる実演



第3回 メンデルスゾーン「歌の翼に」歌唱体験

9月9日(土)・9月24日(日)・10月14日(土)・10月28日(土) 主催：中央区区民部 文化・生涯学習課

ジャヴィアン先生と語る「アウトリーチ」 ～音楽で地域社会にポジティブな変化をもたらす

目的 アウトリーチを学ぶ大学関係者や、興味を持つ、もしくは実際に活動を行っている演奏家を対象に、受益者に対してより伝わるアウトリーチを行うための考え方や技法を習得する事を目的とする。

内容 メアリー・ジャヴィアン氏は、カーティス音楽院のディレクターとしてコミュニティ・アート・プログラムを立ち上げ、多くの若手演奏家を育成し、また自身もコントラバス奏者としてコミュニティ活動を精力的に行っている。アウトリーチを実践している演奏家や芸術系大学関係者等30名が参加した本ワークショップでは、アウトリーチのプログラムの作る際のエントリー・ポイント（導入）という考え方を紹介していただき、実際に参加者がグループに分かれて「参加型アウトリーチ計画シート」をもとに考え、プログラムを発表した。

参加者の声 楽曲からエントリーポイントを見つけ、どのように具体的なアクティビティにつなげられるか、方法のヒントがたくさんありましたノ新しく出会った仲間と新しいプログラムを作ったことが有益だった。様々な意見が聞けて刺激的だった。



演奏家、大学関係者など多くの方々受講



グループで考えたプログラムの実践を交えた
意義深いワークショップ

12月1日(金)

主催：認定NPO法人トリトン・アーツ・ネットワークノ上野学園大学（上野学園大学音楽文化研究センター）

協力（招聘）：愛知県立芸術大学

(5) その他コミュニティ活動

月島草市

内容 地域で毎年夏に行われるお祭りに参加。ピアノアートサロンと協力し、ミュージックベルの体験を通して音楽を身近に感じて頂くと共に、第一生命ホールやトリトンアーツの活動を知らせるチラシの配布も行った。

7月8日(土) 月島西仲通り



ボストン美術館の至宝展内覧会

内容 第一生命グループが特別協賛する「ボストン美術館の至宝展」の内覧会で、ご来場の皆さまに、受付とレセプション会場で音楽を楽しんでいただいた。

7月18日(火) 主催：第一生命グループ



埼玉県 青少年夢のかけはし事業

内容 埼玉県主催の小学生を対象とした「夢のかけはし事業～演奏家になりたい!!」にTANBRASSが出演した。166名の県内小学生が参加し、金管五重奏と打楽器の演奏のほか、TANBRASSの奏者が演奏家になったきっかけを話したり、「演奏家になるための」様々な質問に答えたりして交流を図った。



リコーダーで共演

2018年1月8日(月・祝) 主催：埼玉県/第一生命保険株式会社

VOCA展 25周年記念コンサート

内容 第1回より第一生命保険株式会社が協賛をしている現代美術の若手作家を紹介するVOCA展の25周年記念イベントとして、上野の森美術館にて弦楽四重奏のコンサートを実施した(出演：Quartet MIYABI)。事前申し込みによる42名の子どもたちとその親御さんに絵画と音楽のコラボレーションを楽しんでいただいた。



2018年3月17日(土) 主催：第一生命保険株式会社

コミュニティ活動レポートピックアップ

4年生はじめてのクラシック 中央区立佃島小学校 * P.22 参照

オープニング (登場) ~『レスギンカ』(ハチャトゥリアン)

クリスさんによるドラムマーチでスタート。普通に紹介されて出てくるよりも興味をひきつける効果抜群。しかも、児童の席の間を通るといふパフォーマンス付きで子どもたちが自然と笑顔になり、これから始まる演奏に期待を高めている様子が感じられた。そして、そのまま浜さんとのデュオで1曲目の演奏へ。目の前で繰り広げられるマリンバの世界に圧倒されている感じがした。マレット使いを真似している子も。終わった瞬間、「すごい!!」という感動の拍手! オープニングの素晴らしさが、このアウトリーチの大成功のカギの一つだったと思う。



クリスさんの自己紹介~打楽器の紹介~“Call and Response”

まさか、外国の演奏家が登場するとは思っていなかったのでは?! まずそこがサプライズだった。そして、英語での自己紹介後、実は日本語がペラペラとわかって2度目のサプライズ。

いろいろな打楽器の紹介では、見たことのない楽器がたくさんあって興味深そうだった。鍵盤楽器のように「ドレミ」の音階はなく3つの音しか出ないのに、クリスさんの手にかかるるとサンバのリズムが響いてくる、その魔法に感動していた様子。そして、言葉が通じなくても、音楽で会話ができる“Call and Response”では、子どもたちが楽しそうに手をたたいていたのが印象的だった。音楽でやり取りができるんだと実感できたのでは?

マリンバの楽器紹介~音の振動体験

次は浜さんによるマリンバの紹介。鍵盤上のピンポン球が鍵盤をマレットで叩くと大きく跳ねたのを見た時本当にびっくりしていた。そして、実際に鍵盤に指を置いて振動を体験すると、「おお!!」と大きな声をあげる子、「ふーん」とさりげなく去っていく子など、一人ひとりいろいろな反応が見られたのがおもしろかった。楽器を見る、聴くだけでなく、触れて体感できたのがよかった。浜さんのリードがとても上手で、子どもたちの素直な反応を引き出して下さるがだと思った。



2曲目『熊蜂の飛行』(リムスキー=コルサコフ/編曲 M. レス)

2人で1台のマリンバを演奏する、その入れ替わりのパフォーマンスにみんな釘付けだった。曲が終わると、一斉に「おー!!」という歓声と大拍手に包まれた。マリンバはあんな風にも演奏できるんだと、マリンバの魅力をととてもよく伝える選曲だったと思う。耳だけでなく、目でも楽しめた。

打楽器の紹介 後編~3曲目『ガーナイア』(シュミット)

見たことのない楽器<ジャンベ><カシシ>に子どもたちは興味津々だった。『ガーナイア』の曲中、子どもたちがアフリカの楽器“ジャンベ”を叩かせてもらった時、初めのうちは遠慮がちだったのに、次々と盛り上がっていく様子がおもしろかった。その後、リズムに乗って体を動かしている子どもも多く見られるようになり、教室が一体化している感じがした。また、打楽器(パーカッション)は、難しいことを考えずに身体でリズムを感じられるので、みんなが楽しめたと思う。



『ジ・エンターティナー』(ジョプリン) ~ボディ・パーカッション~

今度は自分たちも身体を使って音楽に参加。さらに教室が一体となって全員が全身で音楽を感じられた。ボディ・パーカッションは、すんなりリズムが取れる子もいれば、なかなかできない子もいたが、どの子もみな笑顔でやっていたのが印象的だった。途中、クリスさんのリズムによる“Call & Response”は、簡単そうなのに私はすぐに真似できなかった。子どもたちの方が上手にできていたようだ。「自分たちも参加して共に音楽を感じよう」という狙いが子どもたちによく伝わっていたと思う。やはり、アウトリーチでは、こういう参加型の曲があるととても盛り上がり実感した。

『剣の舞』(ハチャトゥリアン)

プロの演奏家の手にかかる、学校にある木琴がまったく別の楽器に変身したように感じた。子どもたちも、「わあ、すごい!!」と目を輝かせて聴き入っていた。マリンバだけでなく学校の木琴も使って演奏して下さったことで、子どもたちの木琴に対する見方が変わるのではないかなと思う。



サポーターの感想

子どもたちがいかに楽しんできれるかを熟考した、素晴らしいプログラム構成だったと思う。3クラス続けては体力的にとっても大変だと思うが、それを感じさせず、ずっと笑顔でいるお二人のアウトリーチ活動にかける情熱が感じられた。

サポーター水野美紀子 観察レポートより

9月11日(月)

出演 浜まゆみ(マリンバ) クリス・フロー(パーカッション)

*そのほかのコミュニティ活動レポートは、トリトンアーツウェブサイト (<http://www.triton-arts.net/ja/community/2017/>) に掲載しております。QRコードからも当該ページをご覧いただけます。



(1) サポーター

目的 2001年の設立当初より中央区在住・在勤者や音楽愛好家を中心とするボランティア（サポーター）の組織化と支援を目的に活動を行っている。サポーターのきめ細やかな対応や人脈により、子どもから大人まで様々な人々に更に音楽を身近に感じていただき、コミュニティの活性化を図ることも目的としている。

2016年度よりサポーター制度のリニューアルを施行し、1・2については要件を伴う登録制とし、3は公募制として運用している。

活動内容

1 第一生命ホール主催・共催公演の
スタッフサポート 28活動
のべ
74名



第一生命ホールへご来場のお客様さまをお迎えし、開場時のプログラムの配布や、それに伴うチラシの挟み込み、終演後のサイン会の列整理やアンケート回収等を行った。

2 コミュニティ活動の
スタッフサポート 32活動
のべ
59名



コミュニティ活動先で会場設営や楽器運搬、写真・ビデオの撮影、レポート作成等を行った。
(すぐに体験できるような準備)

3 第一生命ホールオープンハウスの
企画・運営 1活動
7名



オープンハウスプロジェクトサポーターを組織し、スタッフと共に制作・運営を行った。(P.32 参照)

4 第一生命ホールオープンハウスの
当日サポート 1活動
87名



第一生命ホールオープンハウスにおいて会場準備、お客様案内、各音楽プログラムでの受付や補助等を行った。(P.31-32 参照)

◎越間有紀子

5 子育て支援コンサートの
子ども音楽スタジオ準備・運営 1活動
44名



◎大窪道治

子育て支援コンサート(P.9参照)では、特に第一部「子どものための音楽スタジオ」での子どもの受け入れと音楽スタジオのサポートを行った。その他、受付業務や会場のご案内、案内看板の設置等を行った。

6 ロビーコンサートの
スタッフサポート 6活動
のべ
21名



◎藤本史昭

ロビーでよちよちコンサート、室内楽ロビーコンサートにおいて、スタッフと共に会場設営、チラシの挟み込み作業、お客様ご案内等を行った。ロビーでよちよちコンサートでは、一部の楽曲で演奏にも参加した。

7 事務のサポート 16活動
のべ
60名



チラシの挟み込みやダイレクトメール発送、トリトンアーツ通信の発送、アンケート集計作業を行った。

8 サポーターミーティングや
講座の実施 7活動
のべ
37名



公演サポート接遇研修会やアウトリーチ意見交換会、交流会などを行った。

登録人数 72名 (男性 15名 女性 57名) ※4・5補足：当日のみ参加のサポーターを公募し、参加者数に合算した。

登録者の居住地 中央区 21名 江東区 11名 その他 23区 20名 東京都市部 2名
神奈川県 8名 埼玉県 3名 千葉県 5名 茨城県 2名

※詳細は P.88



サポーター集合写真 ©池上直哉
2017年7月22日 第一生命ホールオープンハウス2017終了後に出演者、スタッフと共に

(2) インターンシップの受入れ

目的 将来アートマネジメント関連の就業を希望し学んでいる大学生および大学院生をインターンシップとして受け入れ、トリトンアーツの様々な取り組みを知ってもらいながら、ノウハウをスタッフやサポーターと共に実践的に学ぶ。

インターンシップ生(期間) 昭和音楽大学1名(6月～12月 10日間)

内容 第一生命ホールオープンハウス、ホール公演、ロビーでよちよちコンサート、アウトリーチなどスタッフの補助をしながらホールとコミュニティの両面からトリトンアーツの活動を学んだ。

インターンシップ生の声 子どもが対象の催事に多く関わり、子どもや保護者の反応を間近で感じる事ができた。アウトリーチでは音楽へ興味を持たせる工夫など、座学では学びきれない部分を学ぶ事ができた。公演では譜めくりをさせていただき、演奏者でなくとも楽譜が読める事の大切さを感じた。どの催事でもサポーターが活躍している姿を目にし、サポーターはトリトンアーツにとって必要不可欠な存在であると共に、サポーターもまたトリトンアーツのことが好きであるのだと感じた。今まで授業や学内実習で培ったことを実際に発揮できる場面も多々あり、大変充実した内容だった。

(3) アートマネジメントに関する外部講師派遣

目的 トリトンアーツの活動を広く知ってもらうと共にアートマネジメントに関する現場のノウハウを伝える。

内容	日程等
昭和音楽大学「芸術文化と社会I」で非常勤講師として講義	4月から7月(全15回)
音楽がヒラク未来 にて、パネルディスカッション「人を創りつなぐということ」をテーマにパネリストとして登壇。グループディスカッションでのファシリテーターを務め、「音楽がヒラク未来東京宣言。育てる！繋がる！発信する！」で発表	5月13日(土) 主催：東京都/東京文化会館・アーツカウンシル東京 (公益財団法人東京都歴史文化財団) 会場：東京文化会館
音楽を“まなびほぐす”——教育普及プログラム実践者のための人材育成事業「現場を支えるヒト・モノ・コト」をテーマに登壇	10月21日(土) 主催：上野学園大学音楽文化研究センター 会場：朝日新聞社メディアラボ
政策研究大学院大学の文化政策コース特別セミナー2017として「地域とともに生きる劇場：アウトリーチの可能性」をテーマに講義	12月7日(木)
平成29年度アートマネジメント講座「アウトリーチに求められるコーディネート力とは」をテーマに講演	2018年1月23日(火) 主催：茨城県、公益財団法人いばらき文化振興財団

アウトリーチセミナー2017

目的 「音楽家がコミュニティの中で果たす役割」を実践を通して考えるためのセミナー。講師と弦楽四重奏を組み、トリトンアーツのコーディネーターと共にプログラムを考えリハーサルの上、中央区、江東区内の小学校等でアウトリーチを行う。実践の場を通して、コミュニティ活動で活躍する演奏家を育成する。

内容 小学校や幼稚園、病院等でのアウトリーチを実践した後、第一生命ホールロビーコンサートに出演する。プログラム作りからコミュニティ活動の実践の場を通して、アンサンブル能力を磨き、作品への深い理解と表現力の向上を目指すと共に、演奏家としての今後の活動に役立つスキルを身に着ける。



受講生の感想

- 受講前は「子どもだからこういう曲がよい」など勝手な先入観があったが、実際にラヴェルの弦楽四重奏を聴いてもらうアウトリーチに取り組んでみて、まっすぐに受け止めてくれる子どもたちの反応を肌で感じて自信になった。アウトリーチという概念が180度変わった貴重な体験だった。
- こんなにアウトリーチの内容を考える時間が必要とは思わなかった。そして、提案したことが何度か却下されてどうしてよいかわからなくなった。後で考えると、途中で行き詰まった時は「子どもたちに何を伝えたいか」ということがぶれてしまった時だった。一番伝えたいことをいつも大切にしながら、プログラムを考える必要があることが分かった。
- アウトリーチは言葉選びが難しいと感じた。子どもだけでなく人に何かを伝えるときに、言葉のチョイスは大事だと思った。伝えたいことはあるのに、どの言葉を使ったらよいか悩むことは演奏にも同じことが言えると感じた。
- 今回のセミナーを通して、室内楽への取り組み方の意識、音楽へのアプローチの仕方が確実に変わったと思う。
- 同じプログラムを何度か本番で実施することによって、内容が身体に入って、落ち着いて子どもたちの反応を感じることができた。2校目に実施した時には、子どもたちと一体になれた感じがした。

講師 松原勝也(ヴァイオリン:東京藝術大学教授) *第一生命ホールロビーコンサート 柳瀬省太(ヴィオラ)

受講生 今高友香(ヴァイオリン) 岩下恵美(ヴィオラ) 福原明音(チェロ)

実施内容 文化教養学園アウトリーチ *詳細は P.28 中央小学校4・5年生アウトリーチ *詳細は P.23
 聖路加国際病院アウトリーチ *詳細は P.29 京橋築地小学校4年生アウトリーチ *詳細は P.23
 第一生命ホールロビーコンサート *詳細は P.33

演奏の機会の提供

目的 「アウトリーチセミナー」を修了した演奏家に、保育園・幼稚園でのアウトリーチの機会や、ホールでのコンサートでの演奏機会を提供し、実践の場を通してさらにスキルアップを目指す。

内容 アウトリーチセミナー修了生を中心にクァルテットを組み、3つの園でアウトリーチを実施した。セミナー受講時期の異なる演奏家でメンバーを組むことにより、異なる経験値やそれぞれが実践してきた内容の創意工夫を共有し、子どもたちに向けた活動を行った。



実施内容 日本橋幼稚園アウトリーチ 晴海幼稚園アウトリーチ 豊洲保育園アウトリーチ *詳細は P.27
 第一生命ホールロビーコンサート *詳細は P.33



トリトン 晴れた海のオーケストラ

©大塚道治

広報活動

テレビ・新聞・雑誌

2

テレビ放送

6月4日に行われたアキロン・カルテットの公演をNHKが収録し、NHK-BS「クラシック倶楽部」、NHK-FM「ベスト・オブ・クラシック」にて放送されました。

掲載誌面抜粋

公演に先立っての出演者インタビューや公演後に公演評などが、掲載されました。

古希記念演奏会 心の陰影 歌で届ける

ドイツ歌曲の歌唱で世界的な評価を得るメゾソプラノ歌手の白井光子さん。写真が10月28日午後3時から、東京・勝どきの第一生命ホールで、70歳の古希を記念した演奏会を開く。デュオを組んで45年になるピアノのハルトムート・ヘルさんとの名コンビで、「歌の中で違う人生を生き、心の陰影を歌う」という歌曲の醍醐味を披露する。

メゾソプラノ歌手 白井光子さん



ではなく、言葉と音楽の深い意味を伝えること。まゆ毛の動き一つで声は変わり、言葉が分からない聴衆にもその感情は届く。胸に深く刻む信条は、デュオ開始時から揺るがない。今回の演目は、歌曲集「女の愛と生涯」などのシューマン作品とヴォルフの作品。愛する人との死別までの人生を歌ったシューマン作品と、歌詞と音楽が濃密に絡み合うヴォルフ作品に、白井さんは思い入れが強い。デュオ結成当初は、ヘルさんが伴奏に不慣れで「息をさせてもらえなかった」と笑う。30〜40代では、年間約120回もの公演を行ったこともあった。「音楽に言葉と色がある」とたたえるヘルさんと経験を積み、「互いにしっかりと勉強して舞台上上がると、相手の息を手取るように感

じ、自分が自由になる最高の瞬間が訪れる」と語る。2006年には、全身に力が入らなくなる難病になり、約2年後に復帰して歌う喜びをかみしめた。「年齢や心の状態で声は変わるが、受け入れるしかない。自らのテクニクありきではなく、常に自分が変わっていかねければ」と感じる。かつてエリーザベト・シュヴァルツコップら名歌手に学んだ。今、その教訓を思い返し、教え子らに伝える。「（彼女たちは）楽譜に忠実でその上でしゃべっていて、自由があった。とことん曲を突き詰める姿勢が必要」と強調する。自身も「シューベルトでも歌っていない曲は山ほどある。自分の興味に正直に取り組んでいきたい」と意欲は衰えない。☎03・35332・5702。（岩城 撰）

2017年6月10日 読売新聞夕刊
白井光子 インタビュー
取材・文：岩城 撰

concert
PHOTO REPORT



朴葵姫

Kyuhee Park

雄大と行く 昼の音楽さんぽ

写真：池上直哉

音楽ライター・山野雄大^{たけひろ}を案内役に演奏とトークで綴る第一生命ホールシリーズ企画「雄大と行く 昼の音楽さんぽ」の第9回公演に朴葵姫が登場。平日の午前11時開演（10時30分開場）にも関わらず会場には多くの聴衆が訪れた。同シ



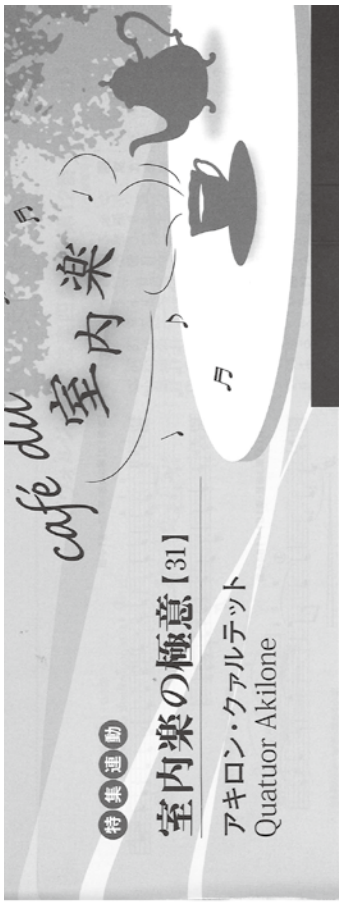
リーズのギタリストの出演は鈴木大介・大萩康司によるデュオ（2015年9月）に続き2回目、そして朴は第一生命ホールでの初のコンサートとなった。当日のプログラムは、〈アランプラの想い出〉〈森に夢みる〉といった得意のトレモロ曲を始め、軽快なスカルラッチェのソナタ、色彩感豊かなバークリーの〈ソナチネ〉、疾走感溢れるディアンス（フォーコ）などバラエティ豊かな内容に加え、曲間に山野との親しみやすいトークを挿んだ90分間（休憩なし）というお得な企画。昨年のスペイン留学以降、ソロだけでなく、オーケストラや弦楽との共演の機会も増え、音楽性にますます磨きがかかり、安定度が増すばかりの朴葵姫。いよいよ7月21日にはGGスペシャルコンサート（東京：Hakuju Hall）に登場する。プログラム：ソナタ・ニ長調 K.178、ソナタ・ト長調 K.391（スカルラッチェ）、アランプラの想い出（タレガ）、ソナチネ Op.52-1（バークリー）、森に夢みる（バリオス）、ワルツ・アン・スカイ、「リブラ・ソナチネ」より第3楽章フォーコ（ディアンス）、アストゥリアス“伝説” Op.47-5、カタルーニャ奇想曲 Op.165-5、コルドバ Op.232-4、セビーリャ Op.47-3（アルベニス）

[5月10日/第一生命ホール]

2017年7月1日発行 現代ギター7月号

朴葵姫 公演評

写真：池上直哉



特集 運動

室内楽の極意【31】
アキロン・クアルテット
Quatuor Aklone

ポルトー国際弦楽四重奏
コンクール優勝から1年。
風のように自由にはばたく

結成から6年、アキロンに込めた思い。2011年にパリのコンセルヴァトワール出身の女性4人で結成されたアキロン・クアルテット。ヴァイオリンのエリナ・コルネロ、ヴィオラのルイーザ・ガウラ、チェロのルイーザ・ガウラ、コントラバスとピアノのルイーザ・ガウラ。メンバー全員が女性で、結成から6年、ポルトー国際弦楽四重奏コンクールで優勝した。この時期、メンバー4人とも四重奏組にもっとも興味があったのです。なんとなく気が合っていたのか、2011年、メンバー4人が偶然に出会った。エリナは当時、パリで音楽を学んでいた。エリナは当時、パリで音楽を学んでいた。エリナは当時、パリで音楽を学んでいた。



ポルトー国際弦楽四重奏コンクール優勝アキロン・クアルテットの模様。6月4日、第1回弦楽四重奏コンクールにて。



エリナ(2nd Vn)

「ポルトーのコンクールでは、調和のとれた演奏を行うために気を付けている」とエリナは語る。メンバー4人は、それぞれ異なる音楽的アプローチを持っており、それがクアルテットの強みとなっている。エリナは、メンバー4人は、それぞれ異なる音楽的アプローチを持っており、それがクアルテットの強みとなっている。

「ポルトーのコンクールでは、調和のとれた演奏を行うために気を付けている」とエリナは語る。メンバー4人は、それぞれ異なる音楽的アプローチを持っており、それがクアルテットの強みとなっている。

学生時代から続く友情
家族のような強固なものに

ポルトーのコンクールでは、調和のとれた演奏を行うために気を付けている」とエリナは語る。メンバー4人は、それぞれ異なる音楽的アプローチを持っており、それがクアルテットの強みとなっている。



エリナ(1st Vn)

「ポルトーの優勝後、仕事は非常に忙しくなり、さらに学生生活から非常に早く、多くの時間を練習に費やして、彼女たちは基本的に仲良く、時には学生時代からずっと仲良くしているという。この期間、彼女の成長がクアルテットの魅力の一つでもある。ポルトーの優勝後、仕事は非常に忙しくなり、さらに学生生活から非常に早く、多くの時間を練習に費やして、彼女たちは基本的に仲良く、時には学生時代からずっと仲良くしているという。この期間、彼女の成長がクアルテットの魅力の一つでもある。



ルイーザ(Vcl)



ルイーザ(Vcl)

高い集中力が求められるような仕事として、練習時間が短く、仕事として頑を突き合わせることも多かった。練習時間が短く、仕事として頑を突き合わせることも多かった。練習時間が短く、仕事として頑を突き合わせることも多かった。

学校や職員の選定所など
様々な場所に音楽を届ける

若手実力派のクアルテットとして、東京直線で演奏活動を行うアキロン・クアルテット。最近では、東京直線で演奏活動を行うアキロン・クアルテット。最近では、東京直線で演奏活動を行うアキロン・クアルテット。

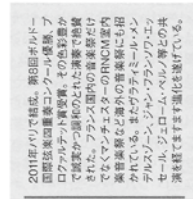
世界各国内でツアーを行う彼女たちが、東京コンサートホール以外での演奏にも力を

「西州は現在、難民の問題を抱えている。私たちは様々な形で、思いを込めて、人たちのいる避難所や病院施設などに音楽を届けたいと思っています。また、子どもたちのために学校で演奏する活動も積極的に行っています。ポルトー。エリナは当時、パリで音楽を学んでいた。エリナは当時、パリで音楽を学んでいた。エリナは当時、パリで音楽を学んでいた。」



「ポルトーのコンクールでは、調和のとれた演奏を行うために気を付けている」とエリナは語る。メンバー4人は、それぞれ異なる音楽的アプローチを持っており、それがクアルテットの強みとなっている。

「ポルトーのコンクールでは、調和のとれた演奏を行うために気を付けている」とエリナは語る。メンバー4人は、それぞれ異なる音楽的アプローチを持っており、それがクアルテットの強みとなっている。



取材・文：石山真紀 写真：向後由美

2017年10月1日発行「サラサテ10月号」
アキロン・クアルテット インタビュー
取材・文：石山真紀 写真：向後由美





第23回ロビーでよちよちコンサート©藤本史昭

組織運営・財政決算・定款

3-1. 役員・職員・評価委員・特別会員・寄付者・正会員

3-2. 総会・理事会・運営会議・企画分科会

3-3. 財政決算

3-4. 定款

3

3-1 役員・職員・評価委員・特別会員・ 寄付者・正会員

① 役員・職員

(2018年4月始現在)

理事長 長浜力雄
理事 藤田正厚 倉林京子 岩間陽一郎 阪本要一 三井禎浩 江川友浩 平山武史 田中玲子
監事 永山妙子 入江将司

事務局長 植田寛
事務局次長 大平和代
エグゼクティブ・プロデューサー 田中玲子
職員 櫻井あゆみ 黒澤洋子 宮崎友紀子 高田美弥子 杉野直博 廣澤純子

② 評価委員 (2017年度)

委員長 垣内恵美子 政策研究院大学院大学教授
委員 厚地美香子 認定NPO法人あっちこっち理事長
委員 大野順二 公益財団法人東京交響楽団専務理事 楽団長
委員 澤田澄子 公益社団法人企業メセナ協議会常務理事 事務局長
委員 町田一雅 中央区文化・国際交流振興協会 事務局次長
 (五十音順)

③ 特別会員 (法人会員) 47社

(2018年4月始現在)

<エステルハージ・サークル会員>

アサヒグループホールディングス株式会社	損害保険ジャパン日本興亜株式会社	ネオファースト生命保険株式会社
SMBC日興証券株式会社	第一生命情報システム株式会社	野村証券株式会社
株式会社NTTデータ	第一生命保険株式会社	BNPパリバ・グループ
鹿島建設株式会社	株式会社第一ビルディング	みずほ証券株式会社
キャノン株式会社	第一フロンティア生命保険株式会社	三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社
JPモルガン証券株式会社	大和証券株式会社	メリルリンチ日本証券株式会社
シティグループ証券株式会社	株式会社竹中工務店	モルガン・スタンレー MUFG証券株式会社
清水建設株式会社	ドイツ銀行グループ	(他匿名4社)
住友商事株式会社	日本物産株式会社	29社 五十音順

<ラズモフスキー・サークル会員>

アセットマネジメントOne株式会社	株式会社人財アジア	東洋埠頭株式会社
アフラック生命保険株式会社	相互住宅株式会社	日本建設株式会社
株式会社大林組	第一生命カードサービス株式会社	野村アセットマネジメント株式会社
株式会社関電工	第一リース株式会社	株式会社ビデオプロモーション
興銀リース株式会社	大成建設株式会社	株式会社みずほ銀行
資産管理サービス信託銀行株式会社	大日本印刷株式会社	株式会社三菱UFJ銀行

18社 五十音順

④ 寄付者 191名

(2017年4月1日～2018年3月31日)

浅野友晴	上田公己	川崎真一郎	阪本要一	高橋義哉	中井理恵	廣瀬千春	宮田芳文	吉田美智子
安部洋子	上野啓	川島健資	櫻井謙二	田口城	中谷行道	吹野浩久	宮原健祐	吉田義隆
荒井一浩	榎並重人	川島貴志	櫻井敏行	竹島健二	長野二郎	藤中将樹	茂木有司	植田和孝
荒川祐子	大磯公男	木本恭子	櫻井雅仁	武富正夫	長野洋	藤野正昭	森岡靖夫	和田健志
岩岐浩一	岡野利行	桐生清人	佐々木光子	庄子浩	長濱守信	細島芳	森ケ山和久	渡辺克久
池田真一	岡本佳子	久保克文	佐藤智	立石真	長浜力雄	堀尾則光	森田富治郎	渡邊光一郎
池田浩之	奥谷直也	久米信介	地主道夫	田中明夫	永山篤史	松井秀文	矢島良司	(他匿名42名)
生駒尚樹	奥本洋三	久米保則	下釜光滋	田中千秋	南部雅夫	松岡公	安井喜重	
石井一真	小野耕司	黒河龍司	庄子浩	田中互	野口芳江	松本恒夫	柳原隆司	
石田充宏	小原一泰	黒河内雅夫	須賀田えり子	辻雅夫	野村英治	摩尼貴晴	山口隆司	五十音順
泉善二	貝賀直樹	小柴周一	鈴木慎一	辻紀美子	野元克彦	間宮基文	山腰憲司	敬称略
磯部雄哉	鐘味徳房	小山正之	関本順子	津田高志	長谷川修	丸野孝一	山下真史	
市川哲夫	樫本浩一	近藤総一	園部俊彦	手塚義博	浜野貞夫	三木隆二郎	山本恵子	合計184名
稲垣精二	勝本裕	斎藤勝利	高崎泰典	寺本秀雄	樋口英樹	瑞岩英幸	湯沢知之	
稲葉紀子	加藤桂子	斎藤徳彦	高野由美子	友重淳二	菱田真	皆川雅則	横田敏実	
今井房江	金澤洋	阪上美穂	高橋敦	伴野亮	平石淳	皆川雅紀	吉田久子	
岩田哲也	加茂文治	佐賀奈穂	高橋千恵子	内藤学	平本洋	宮崎敦志	吉田昌史	

組織運営・
財政決算・定款

秋鹿武志	伊藤直紀	奥谷直也	桐生清人	佐藤公博	高田久資	富所幸子	馬場弘之	水上将克	横道文司
青柳明男	伊東直文	奥村隆夫	金田一章浩	佐藤絃一	高野由美子	友重淳二	羽原利尚	水越彰	横谷英之
明石衛	伊藤浩樹	奥村嘉孝	草水美子	佐藤智	高橋敦	伴野亮	濱田崇	水野淳一郎	横山伸
赤松隆三	伊藤弘康	尾崎太一	工藤雄二	佐藤友紀	高橋暁	Trevor Hill	濱本久美子	美澄玄一郎	横山昌明
秋本信幸	伊藤らん子	小此木倫明	久富博之	佐藤雅美	高橋直	内藤久	濱本久子	三井禎浩	吉川浩二
秋吉満澄	小田垣隆	小田垣隆	国井保博	佐藤ミチ子	高橋剛志	内藤学	浜本吉郎	皆吉信秀	吉澤周一
阿久沢優	糸長丈秀	落合庸人	久保克文	佐藤康久	高橋千恵子	永井久夫	林哲治郎	皆吉信秀	吉沢哲生
浅岡延之	稲垣精二	落合香子	窪田泰彦	佐藤真	高橋利雄	長岡功	原正英	嶺村清美	吉沢裕子
浅倉昭彦	猪股慶子	小野耕司	久保康寛	沢田博	高橋博樹	中川章	原由也	箕口一美	吉住奈穂子
朝倉香織	伊吹一彦	小野耕義	久米信介	塩入一行	高橋義人	長崎俱久	原喜益	三森健太郎	吉田和夫
朝倉康貴	今井房江	小野文夫	久米保則	塩野勝紀	高山敏一	中澤武司	原田浩一	宮崎敦志	吉田浩一郎
浅田哲朗	今泉典彦	尾上芳江	公文美恵子	重本和之	高山秀男	永島修	播戸正臣	宮崎隆雄	吉田郷
浅野知彦	今枝真寿	小島秀之	倉内賢一	鎮目哲郎	滝口真一	長島秀文	日置俊次	宮澤仁司	吉田保
浅野友靖	今野照雄	小美野真知子	倉崎伸雄	信濃裕美	田口城	永田穂	樋口英樹	樋口康弘	吉田久子
浅野文章	今野みち子	加賀司	倉野昌浩	地主道夫	武井和弘	中武久徳	久永勝義	宮田芳文	吉田昌史
朝比奈洋	入江将司	垣並徹	倉林京子	篠原健	竹内啓子	長友吉子	菱田真	宮野博則	吉野充次
芦川裕史	入部衛	掛川さおり	倉光哲	柴垣貴弘	竹内達夫	中西啓文	平井裕治	宮原直也	米倉嘉次
芦田至	岩井泰雅	影山憲之	栗原幸宏	柴田知栄	竹内章二	中野清臣	三輪祐児	平石博	米村由紀
東寿子	岩崎誠	笠原佳明	紅林啓	芝田康弘	竹内徹	長野二朗	平木昭博	武者祐介	笠直樹
阿部修士	岩田哲也	櫻井啓祐	黒河内雅夫	芝田康弘	竹道勝義	永野裕輔	平本洋	村井学	若松慶造
安部洋子	岩淵康哉	榎本浩一	黒瀬雅昭	渋谷孝人	竹島啓太	長濱守信	平山武史	村井幸博	若山吉史
阿部倉武	岩間千織	粕谷勝二	黒田潤	嶋志津子	竹島健二	立森あかね	深谷竜司	村岡惠理	穂田和孝
網屋裕二	岩間陽一郎	片岡俊郎	黒主慎亨	島光雄	武富正夫	永原純子	広瀬佳栄	村上すゝ子	渡辺克久
鮎川靖	樋田寛	片岡佳彦	桜校秀一	島訓子	竹中孝夫	中溝哲聡	広世亘	村川琢	渡邊光一郎
鮎沢慎一	上田眞	片山昶弘	小泉哲司	清水王人	竹中統一	中村滋比古	弘中健一	村田純一	渡邊泰緒美
荒井一浩	上野啓	勝見有二	香西健	清水智	竹村治	中村伸治	村田琢真	村田英崇	渡邊寿美恵
新井尚信	上野真司	勝村宣子	合田真	清水紀子	竹谷章	中村雅一	深澤宏二	室橋弘道	渡邊康幸
荒川敬子	上村昌子	勝本裕	河野博	清水秀正	武山芳夫	中村光男	深野貞子	望月淳二	渡辺和
荒川祐子	内木場信篤	加藤睦子	古賀宗徳	清水成人	橋英一	永山篤史	深見裕紀子	望月広愛	和山正則
荒木靖之	加藤聡	国仙祐一	小坂晋平	志村嘉津江	立森あかね	永山妙子	深谷竜司	茂木有司	(他匿名2名)
荒銭恵子	内田高弘	加藤善巳	小柴周一	下釜光滋	伊達隆裕	中山直子	吹野浩久	本林徹	
有可春樹	内野弘一	加藤善巳	小島忠史	下村英一郎	立石真	中山道久	福田健	森茂	
安藤伊佐武	宇野雅仁	門倉宏	小谷隆之	朱祐子	田中明夫	並木貢	福田良彦	福馬美佐子	
安藤仁	宇野雅仁	門倉宏	小谷隆之	城後和也	田中明彦	並木礼子	福馬美佐子	藤井利勝	
安藤幸恵	海辺克彦	金井洋	児玉貴紀	庄子浩	田中耕次	成田元男	藤井利勝	藤田和正	
飯島一彦	梅垣春記	金澤洋	後藤陽子	城山潤一郎	田中千秋	名和孝	藤田和正	藤田正厚	
飯島浩明	梅垣雅子	金多賀淑久	小林敦子	新宮広之	田中千秋	名和孝	藤田正厚	藤田中章	
飯田修	梅田清志	要俊也	小林一彦	新庄裕三	田中將之	縄田裕子	藤田中章	藤中浩子	
飯田貴史	瓜生宗大	金谷尚子	小林諭子	須賀田えり子	田中亮一	新倉聖子	藤中浩子	藤本勝司	
飯田吉宣	江川友浩	金山毅	小林直子	菅野優	田中玲子	新原啓史	藤本勝司	藤原接子	
飯高晶	江崎正志	金子伸一郎	小林浩幸	菅原功	田中互	新村健	藤原接子	藤原正邦	
五十嵐克弘	江尻晶	金子弘貴	小林誠仁	杉野泰亮	田邊新悟	新村浩	藤原正邦	坊垣内広樹	
五十嵐信一	江藤正樹	金塚忍	小林万有美	杉山彰	田邊陽一	西友一	坊垣内広樹	坊農明彦	
井川満也	飯取寛大	加納裕之	小林優子	杉山未帆	谷元雄	西尾晃直	坊農明彦	西岡豪	
岐崎浩一	海老根美枝子	加納岳	小吹達哉	鈴木和昭	谷口哲也	西岡豪	細川隆夫	西崎貴三	
池田裕史	江間洋介	壁谷英雄	五味信子	鈴木慎一	谷口智則	西崎貴三	堀彰彰	西端雄一	
池田浩之	江間美代子	加茂文治	藤田優	鈴木敏邦	谷本良平	西端雄一	堀彰彰	西村彰夫	
池永明弘	遠藤浩之	加茂儀子	藤田優	鈴木久和	田原正	西村彰夫	堀彰彰	西村賢治	
池端龍男	大泉光一	河合信彦	藤田優	鈴木久和	多良宜久	西村俊一	堀彰彰	西村賢治	
生駒尚樹	川口綾子	小和田滋	藤田優	鈴木久和	近岡雅之	西山隆	堀彰彰	西村賢治	
井阪昌司	大磯公男	今雅	藤田優	鈴木博	竹馬泰一	西山隆	堀彰彰	西村賢治	
石井一眞	川崎真一郎	近藤邦夫	藤田優	鈴木博	樗木真理	二瓶統	堀彰彰	西村賢治	
石井登	川崎一弘	近藤総一	藤田優	鈴木博	茅野秀真	二瓶隆	堀彰彰	西村賢治	
石井範昭	川島貴志	近藤美樹子	藤田優	鈴木博	塚越朋夫	丹羽浩範	堀彰彰	西村賢治	
石井博子	河添祐司	斎藤大蔵	藤田優	鈴木博	須藤弘明	根本敦	堀彰彰	西村賢治	
石井美麗	河谷善夫	斎藤勝利	藤田優	鈴木博	須藤光隆	野口亨	堀彰彰	西村賢治	
石黒三男	川原浩策	斎藤喜美子	藤田優	鈴木博	砂田智行	野口亨	堀彰彰	西村賢治	
石田充宏	川原則光	斎藤健治	藤田優	鈴木博	砂田智行	野口亨	堀彰彰	西村賢治	
石塚幸徳	川村哲夫	斎藤茂子	藤田優	鈴木博	清古康之	野口亨	堀彰彰	西村賢治	
石野亜希子	神田康弘	斎藤茂子	藤田優	鈴木博	清野佐重子	野口亨	堀彰彰	西村賢治	
石橋大介	菅野美樹	斎藤貴宏	藤田優	鈴木博	関義則	野口亨	堀彰彰	西村賢治	
石丸佳雄	菅野美樹	斎藤貴宏	藤田優	鈴木博	関義則	野口亨	堀彰彰	西村賢治	
石嶺幸男	菊田徹也	佐賀奈穂	藤田優	鈴木博	関根淳	野口亨	堀彰彰	西村賢治	
泉善二	菊地貴彦	酒井雅士	藤田優	鈴木博	関本順子	野口亨	堀彰彰	西村賢治	
五十君興	菊池憲子	阪上美穂	藤田優	鈴木博	関本順子	野口亨	堀彰彰	西村賢治	
磯崎博貴	坂口寛	坂口寛	藤田優	鈴木博	関本順子	野口亨	堀彰彰	西村賢治	
板橋清	坂下耕治	坂下耕治	藤田優	鈴木博	関本順子	野口亨	堀彰彰	西村賢治	
板谷健司	坂本要一	佐川八重子	藤田優	鈴木博	関本順子	野口亨	堀彰彰	西村賢治	
依知川明美	佐川間啓	櫻井建	藤田優	鈴木博	関本順子	野口亨	堀彰彰	西村賢治	
市川哲夫	佐川間啓	櫻井謙二	藤田優	鈴木博	関本順子	野口亨	堀彰彰	西村賢治	
一ノ瀬昭一	櫻井敏行	櫻井裕大	藤田優	鈴木博	関本順子	野口亨	堀彰彰	西村賢治	
市橋尚美	櫻井裕大	櫻井雅仁	藤田優	鈴木博	関本順子	野口亨	堀彰彰	西村賢治	
一宮正寿	櫻井裕大	櫻井雅仁	藤田優	鈴木博	関本順子	野口亨	堀彰彰	西村賢治	
伊藤恵理	小川伊知郎	櫻井磨理子	藤田優	鈴木博	関本順子	野口亨	堀彰彰	西村賢治	
伊藤和子	小川伊知郎	佐々木英行	藤田優	鈴木博	関本順子	野口亨	堀彰彰	西村賢治	
伊東剛直	奥田春光	清原健二	藤田優	鈴木博	関本順子	野口亨	堀彰彰	西村賢治	

(他匿名2名)
 五十音順
 敬称略
 合計 734 名

財政決算・定款
 組織運営

① 総会

■ 2017年通常総会（2017年6月22日）

【審議事項】

- 第1号議案 2016年度事業報告および決算の件
 第2号議案 役員選任の件
 理事退任1名 池田浩之
 理事新任1名 平山武史
 第3号議案 定款変更の件
 以上が審議され賛成多数で可決された。

② 理事会

■ 第73回（2017年5月25日）

【審議事項】

- 2017年通常総会議決事項
 第1号議案 2016年度事業報告および決算の件
 第2号議案 役員選任の件
 理事退任1名、理事新任1名
 第3号議案 定款変更の件
 以上が審議され全員異議なく承認された。

【報告事項】

- ・2016年度評価報告（第5期評価委員会田中委員長）
- ・2016年度業務計画結果、2017年度業務計画、
- ・活動状況定例報告（以降の理事会報告事項記載略）
 主催・共催公演販売・入場状況、コミュニティ活動状況、
 ファンドレイジング状況、貸しホール公演状況等

■ 第74回（2017年9月7日）

【審議事項】

無し

【報告事項】

- ・予算執行状況 ・第6期評価委員会体制
- ・活動状況定例報告

■ 第75回（2017年12月14日）

【審議事項】

- ・職務責任権限規程改定
 - ・2018年度事業計画公演概要
- 審議のうえ全員異議なく承認された。

【報告事項】

- ・予算執行状況 ・中間監査報告 ・活動状況定例報告

■ 第76回（2018年3月15日）

【審議事項】

- ・2018年度事業計画および予算
 - ・ウェブサイト・リニューアル
- 審議のうえ全員異議なく承認された。

【報告事項】

- ・予算執行状況 ・寄附金削減
- ・2018年度総会、理事会日程 ・活動状況定例報告

③ 運営会議

*参加者

- 第一生命 DSR 推進室課長
 第一生命関連事業部長補佐
 第一生命経済研究所首席主任研究員
 第一生命ホール支配人
 トリトンアーツ エグゼクティブ・プロデューサー
 トリトンアーツ 事務局長

【報告・検討事項】

- ・理事会、総会審議事項
- ・予算執行状況
- ・第一生命との連携事項
- ・活動状況定例報告
 主催・共催公演販売・入場状況、公演振返り、
 次年度公演概要、コミュニティ活動状況、
 コミュニティ活動振返り、web 閲覧状況、
 ファンドレイジング状況、公演顧客分析、
 組織運営体制進捗報告、貸ホール公演状況等

第190回	2017年4月12日
第191回	2017年5月19日
第192回	2017年6月9日
第193回	2017年7月11日
第194回	2017年9月1日
第195回	2017年10月10日
第196回	2017年11月14日
第197回	2017年12月12日
第198回	2018年2月13日
第199回	2018年3月13日

④ 企画分科会

*参加者 トリトンアーツ スタッフ全員

第173回 2017年4月4日から

第183回 2018年3月6日まで11回開催。

- ・主催・共催コンサート、コミュニティ活動の企画・
 実行(Plan Do) および各活動の振返り・改善(Check
 Action)の検討。
- ・各種活動進捗、諸課題検討(広報宣伝、SNS活用、
 公演販売、ファンドレイジング、サポーター活動等)
 およびスタッフ間の情報連携。

平成29年度活動計算書
(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

特定非営利活動法人
トリトン・アーツ・ネットワーク
(単位：円)

科 目	金 額	
I 経常収益		
1 受 取 会 費		
正会員受取会費	7,530,000	
特別会員（法学会員）受取会費	20,100,000	27,630,000
2 受 取 寄 付 金		
受取寄付金		50,196,000
3 受 取 助 成 金 等		
受取民間助成金	3,100,000	
受取国庫補助金	8,160,000	11,260,000
4 事 業 収 益		
チケット売上高	25,102,140	
企画料収入	1,546,000	
販売受取手数料	264,117	
トリトン通信広告掲載料	783,000	
コミュニティ活動収入	1,791,600	29,486,857
5 その他 収 益		
受取利息	1,763	
雑収入	483,144	484,907
経 常 収 益 計		119,057,764
II 経常費用		
1 事 業 費		
(1) 人件費		
給料手当等	30,382,621	
通勤交通費	1,752,644	
法定福利費	4,908,427	
福利厚生費	93,855	
退職給付費用	342,640	
人 件 費 計	37,480,187	
(2) その他経費		
公演制作費	45,375,159	
地域活動制作	5,606,888	
評価システム	768,108	
サポーター	576,083	
業務委託料	1,425,600	
外注印刷費	584,394	
広告宣伝費	7,543,641	
ホームページ	53,488	
チケットシステム手数料	1,060,629	
通信費	721,116	
社用外出交通費	42,441	
交際費	78,244	
諸会費	53,635	
備品消耗品費	975,548	
支払手数料	173,632	
水道光熱費	34,900	
地代家賃	2,999,470	
賃借料	248,321	
租税公課	28,000	
その他経費計	68,349,297	
事 業 費 計		105,829,484
2 管 理 費		
(1) 人件費		
給料手当等	6,360,000	
法定福利費	74,699	
福利厚生費	26,781	
人 件 費 計	6,461,480	
(2) その他経費		
顧問料	1,396,440	
外注印刷費	166,755	
ホームページ	15,263	
通信費	205,768	
社用外出交通費	12,110	
交際費	258,114	
会議費	12,036	
諸会費	15,305	
備品消耗品費	278,370	
支払手数料	49,545	
水道光熱費	9,958	
地代家賃	855,890	
賃借料	70,858	
租税公課	1,145,866	
減価償却費	1,060,080	
その他経費計	5,552,358	
管 理 費 計		12,013,838
経 常 費 用 計		117,843,322
当期経常増減額		1,214,442
III 経常外収益		
経 常 外 収 益 計		0
IV 経常外費用		
雑損失		593,269
経 常 外 費 用 計		593,269
当期正味財産増減額		621,173
前期繰越正味財産額		55,798,783
次期繰越正味財産額		56,419,956

平成29年度貸借対照表

(平成30年3月31日現在)

特定非営利活動法人
トリトン・アーツ・ネットワーク
(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	60,948,320	54,973,755	5,974,565
貯蔵品	261,208	826,143	-564,935
未収入金	7,900,104	7,995,878	-95,774
前払費用	107,080	75,600	31,480
流動資産合計	69,216,712	63,871,376	5,345,336
2 固定資産			
(1) 基本財産			
リース資産	1,172,700	1,485,420	-312,720
基本財産合計	1,172,700	1,485,420	-312,720
(2) その他固定資産			
ソフトウェア	601,920	766,080	-164,160
固定資産合計	1,774,620	2,251,500	-476,880
資産合計	70,991,332	66,122,876	4,868,456
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	2,714,041	1,750,105	963,936
未払消費税	499,500	540,900	-41,400
預り金	285,846	342,811	-56,965
前受金	6,555,500	3,632,010	2,923,490
流動負債合計	10,054,887	6,265,826	3,789,061
2 固定負債			
長期未払金	2,177,214	2,061,632	115,582
退職給与引当金	2,339,275	1,996,635	342,640
固定負債合計	4,516,489	4,058,267	458,222
負債合計	14,571,376	10,324,093	4,247,283
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産	55,798,783	52,688,230	3,110,553
当期正味財産増減額	621,173	3,110,553	-2,489,380
正味財産合計	56,419,956	55,798,783	621,173
負債及び正味財産合計		66,122,876	4,868,456

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日、2017年12月12日最終改正NPO法人会計基準協議会）によっています。

- (1) 固定資産の減価償却の方法
定額法によっています。但し、取得価額30万円未満の資産については即時償却を採用しております。
- (2) 引当金の計上基準
・退職給付引当金
従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき当期末に発生していると認められる金額を計上しています。
なお、退職給付債務は期末自己都合要支給額に基づいて計算しています。
- (3) 消費税等の会計処理
税込経理を採用しております。

2. 事業別損益の状況は別紙の通り

3. 使途等が制約された寄付金等の内訳

使途等が制約された寄付金等の内訳（正味財産の増減及び残高の状況）は以下の通りです。

当法人の正味財産は56,419,956円で、そのうち使途が制約されている寄付金等の残高はありません。

(単位：円)

内 容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高
公演事業（星の音楽さんぽシリーズ）協賛金	0	2,500,000	2,500,000	0
公演事業（トリトン晴れた海のオーケストラ第3回演奏会）協賛金	0	200,000	200,000	0
公演事業（2017-2018SQWコンサート）助成金	0	400,000	400,000	0
公演事業（ライフサイクルコンサート）補助金	0	5,900,000	5,900,000	0
コミュニティ事業（オープンハウス・アウトリーチ・アウトリーチセミナー）補助金	0	1,400,000	1,400,000	0
コミュニティ事業（中央区・江東区小学校アウトリーチ）補助金	0	650,000	650,000	0
コミュニティ事業（中央区民カレッジ）補助金	0	210,000	210,000	0
合 計	0	11,260,000	11,260,000	0

4. 固定資産の増減内訳

(単位：円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
リース資産	1,563,600	583,200	0	2,146,800	974,100	1,172,700
無形固定資産						
ソフトウェア	820,800	0	0	820,800	218,880	601,920
合計	2,384,400	583,200	0	2,967,600	1,192,980	1,774,620

5. 担保に供している財産又は、支払を保証している債務はありません。

6. 役員及びその近親者との取引内容

取引はありません。

給与手当には使用人兼務役員分も含まれていますが、支給対象者が少ないため個人情報保護の観点から金額の明示を省略しています。

7. 事業費及び管理費の按分方法

共通する経費のうち下記の費用については従事割合に基づき按分しています。

- ・法定福利費
- ・外注印刷費
- ・通信費
- ・諸会費
- ・支払手数料
- ・地代家賃
- ・福利厚生費
- ・ホームページ
- ・社用外出交通費
- ・備品消耗品費
- ・水道光熱費
- ・賃借料

事業別損益の状況

特定非営利活動法人トリトン・アーツ・ネットワーク
(単位:円)

科目	公演事業	コミュニティ事業	文化ボランティア 拠点づくり事業	評価事業	事業部門計	管理部門	合計
I 経常収益							
1 受取会費					0	27,630,000	27,630,000
2 受取寄付金					0	50,196,000	50,196,000
3 受取助成金等	9,000,000	2,260,000			11,260,000		11,260,000
4 事業収益	27,602,470	1,884,387			29,486,857		29,486,857
5 その他収益	278,450	0	204,171		482,621	2,286	484,907
経常収益計	36,880,920	4,144,387	204,171	0	41,229,478	77,828,286	119,057,764
II 経常費用							
(1) 人件費							
給料手当	26,782,220	3,600,401			30,382,621	6,360,000	36,742,621
通勤交通費	1,544,952	207,692			1,752,644		1,752,644
法定福利費	4,326,769	581,658			4,908,427	74,699	4,983,126
福利厚生費	82,733	11,122			93,855	26,781	120,636
退職給付費用	302,036	40,604			342,640		342,640
人件費合計	33,038,710	4,441,477	0	0	37,480,187	6,461,480	43,941,667
(2) その他経費							
公演制作費	45,375,159				45,375,159		45,375,159
地域活動制作費		5,606,888			5,606,888		5,606,888
評価システム				768,108	768,108		768,108
サポーター			576,083		576,083		576,083
業務委託料	1,256,664	168,936			1,425,600		1,425,600
顧問料					0	1,396,440	1,396,440
外注印刷費	515,142	69,252			584,394	166,755	751,149
広告宣伝費	6,649,704	893,937			7,543,641		7,543,641
ホームページ	47,150	6,338			53,488	15,263	68,751
チケットシステム手数料	1,060,629				1,060,629		1,060,629
通信費	635,662	85,454			721,116	205,768	926,884
社用外出交通費	37,412	5,029			42,441	12,110	54,551
交際費	68,972	9,272			78,244	258,114	336,358
会議費					0	12,036	12,036
諸会費	47,279	6,356			53,635	15,305	68,940
備品消耗品費	859,944	115,604			975,548	278,370	1,253,918
支払手数料	153,056	20,576			173,632	49,545	223,177
水道光熱費	30,764	4,136			34,900	9,958	44,858
地代家賃	2,644,027	355,443			2,999,470	855,890	3,855,360
賃借料	218,894	29,427			248,321	70,858	319,179
租税公課	24,682	3,318			28,000	1,145,866	1,173,866
減価償却費					0	1,060,080	1,060,080
その他経費計	59,625,140	7,379,966	576,083	768,108	68,349,297	5,552,358	73,901,655
経常費用計	92,663,850	11,821,443	576,083	768,108	105,829,484	12,013,838	117,843,322

平成29年度財産目録

(平成30年3月31日現在)

特定非営利活動法人
トリトン・アーツ・ネットワーク
(単位:円)

科 目	金 額
I 資産の部	
1 流動資産	
現金預金	
現金	0
普通預金 三菱東京UFJ銀行	46,491,900
郵便貯金口座	4,177,079
郵便振替口座	279,341
定期預金 三菱東京UFJ銀行	10,000,000
貯蔵品 封筒他	261,208
未収入金 チケット代他	7,900,104
前払費用	107,080
流動資産合計	69,216,712
2 固定資産	
リース資産	1,172,700
ソフトウェア	601,920
固定資産合計	1,774,620
資産合計	70,991,332
II 負債の部	
1 流動負債	
未払金 事業費・管理費の未払い	2,714,041
未払消費税 H29年確定分	499,500
預り金 源泉所得税等	285,846
前受金 平成30年4月以降公演分他	6,555,500
流動負債合計	10,054,887
2 固定負債	
長期未払金 リース資産	2,177,214
退職給与引当金	2,339,275
固定負債合計	4,516,489
負債合計	14,571,376
正味財産	56,419,956

財政決算・定款
組織運営

特定非営利活動法人トリトン・アーツ・ネットワーク 定款

第1章 総則

(名称)

第1条 この法人は、特定非営利活動法人トリトン・アーツ・ネットワークという。

(事務所)

第2条 この法人は、事務所を東京都中央区晴海1丁目8番10号に置く。

(目的)

第3条 この法人は、東京都中央区の晴海、月島、佃、勝どき地区を主とした地域の人々に対して、音楽を中心とした芸術活動ならびに地域活動を行うことにより、わが国の文化、芸術の発展に寄与することを目的とする。

(特定非営利活動の種類)

第4条 この法人は、前条の目的を達成するため、次に掲げる種類の活動を行なう。

- (1) 社会教育の推進を図る活動
- (2) まちづくりの推進を図る活動
- (3) 学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動
- (4) 子どもの健全育成を図る活動

(事業)

第5条 この法人は、第3条の目的を達成するため、特定非営利活動に係る事業として次の事業を行う。

- (1) 自主企画公演事業
- (2) コンサート出前事業
- (3) アウトリーチプログラム事業
- (4) 若手演奏家支援事業
- (5) 前各号の事業を行うために必要な外国人の招へい
- (6) 文化ボランティア拠点づくり事業
- (7) 評価事業
- (8) その他目的を達成するための事業

第2章 会員

(種別)

第6条 この法人の会員は、次の2種とし、正会員をもって特定非営利活動促進法(以下、「法」という。)上の社員とする。

- (1) 正会員 この法人の目的に賛同して入会した個人又は団体
- (2) 特別会員 この法人の事業を賛助するために入会した団体

(入会)

- 第7条 正会員又は特別会員の入会について、特に条件は定めない。
- 2 正会員又は特別会員として入会しようとするものは、理事長が別に定める入会申込書により、理事長に申し込むものとする。
- 3 理事長は、前項の申込があったときは、正当な理由がない限り、入会を認めなければならない。
- 4 理事長は、第2項のものを入会を認めないときは、速やかに、理由を付した書面をもって本人にその旨を通知しなければならない。

(会費)

第8条 会員は、総会において別に定める会費を納入しなければならない。

(退会)

- 第9条 会員は、理事長が別に定める退会届を理事長に提出して、任意に退会することができる。
- 2 会員が次の各号の一に該当するときは、退会したものとみなす。
- (1) 本人が死亡し、又は会員である団体が消滅したとき。
- (2) 継続して会費を2年以上滞納したとき。

(除名)

- 第10条 会員が次の各号の一に該当するに至ったときは、総会の議決により、これを除名することができる。この場合、その会員に対し、議決の前に弁明の機会を与えなければならない。
- (1) この定款等に違反したとき。
- (2) この法人の名誉を傷つけ、又は目的に反する行為をしたとき。
- (3) 前各号に準じる行為があったとき。

(会費の不返還)

第11条 既納の会費は、返還しない。

第3章 役員

(種別)

第12条 この法人に次の役員を置く。

- (1) 理事 3人以上10人以内
- (2) 監事 2人以内
- 2 理事のうち、1人を理事長とする。

(選任等)

- 第13条 理事及び監事は、総会において選任する。
- 2 理事長は、理事会において理事が互選する。
- 3 監事は、理事又はこの法人の職員を兼ねることができない。
- 4 役員のうちには、それぞれの役員について、その配偶者若しくは三親等以内の親族が1人を超えて含まれ、又は当該役員ならびにその配偶者及び三親等以内の親族が役員総数の3分の1を超えて含まれることにはならない。
- 5 法第20条各号のいずれかに該当する者は、この法人の役員になることができない。

(職務)

- 第14条 理事長は、この法人を代表し、その業務を統括する。
- 2 理事は、理事会を構成し、この定款の定め及び総会又は理事会の議決に基づき、この法人の業務を執行する。また、理事長に事故あるとき又は理事長が欠けたときは、理事の中から理事長があらかじめ指定した者がその職務を代行する。
- 3 監事は、次に掲げる職務を行う。

- (1) 理事の業務執行の状況を監査すること。
- (2) この法人の財産の状況を監査すること。
- (3) 前2号の規定による監査の結果、この法人の業務又は財産に関し不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実があることを発見した場合には、これを総会又は所轄庁に報告すること。
- (4) 前号の報告をする必要がある場合には、総会を招集すること。
- (5) 理事の業務執行の状況又はこの法人の財産の状況について、理事に意見を述べること。

(任期等)

- 第15条 役員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。
- 2 補欠のため、又は増員によって就任した役員の任期は、それぞれの前任者又は現任者の任期の残存期間とする。
- 3 役員は、辞任又は任期満了後においても、後任者が就任するまでは、その職務を行わなければならない。

(欠員補充)

第16条 理事又は監事のうち、その定数の3分の1を超える者が欠けたときは、遅滞なくこれを補充しなければならない。

(解任)

- 第17条 役員が次の各号の一に該当するに至ったときは、総会の議決により、これを解任することができる。ただし、総会において、その役員に対し、議決前に弁明の機会を与えなければならない。
- (1) 心身の故障のため、職務の遂行に堪えないと認められるとき。
- (2) 職務上の義務違反、その他役員としてふさわしくない行為があったとき。

(報酬等)

- 第18条 役員は、その総数の3分の1以下の範囲内で報酬を受けることができる。
- 2 役員には、その職務を執行するために要した費用を弁償することができる。
- 3 前2項に関し必要な事項は、総会の議決を経て、理事長が別に定める。

第4章 総会

(種別)

第19条 この法人の総会は、通常総会と臨時総会とする。

(構成)

第20条 総会は、正会員をもって構成する。

(権能)

- 第21条 総会は、次の事項を議決する。
- (1) 定款の変更
- (2) 解散及び合併
- (3) 事業報告及び決算
- (4) 役員を選任又は解任、報酬及び職務に関する事項
- (5) 会費の額
- (6) 長期借入金その他新たな義務の負担及び権利の放棄
- (7) その他運営に関する重要事項

(開催)

- 第22条 通常総会は、毎年1回開催する。
- 2 臨時総会は、次の各号の一に該当する場合に開催する。
- (1) 理事会が必要と認め、招集の請求をしたとき。
- (2) 正会員総数の5分の1以上から、会議の目的である事項を記載した書面をもって招集の請求があったとき。
- (3) 第14条第3項第4号の規定により、監事から招集があったとき。

(招集)

- 第23条 総会は、理事長が招集する。ただし、前条第2項第3号の規定による場合は、監事が招集する。
- 2 理事長は、前条第2項第2号の規定による請求があった場合は、その日から30日以内に臨時総会を開かなければならない。
- 3 総会を招集するときは、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面又は電磁的方法をもって、少なくとも5日前までに通知しなければならない。

(議長)

第24条 総会の議長は、その総会において、出席した正会員の中から選出する。

(定足数)

第25条 総会は、正会員の2分の1以上の出席がなければ開会することができない。

(議決)

- 第26条 総会における議決事項は、第23条第3項の規定によってあらかじめ通知した事項とする。
- 2 総会の議事は、この定款で定めるもののほか、出席した正会員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(表決権)

- 第27条 各正会員の表決権は平等なものとする。
- 2 総会に出席しない正会員は、あらかじめ通知された事項について書面若しくは電磁的方法をもって表決し、又は他の正会員を代理人として表決を委任することができる。
- 3 前項の規定により表決した正会員は、前2条の適用については、出席したものとみなす。
- 4 総会の議決について、特別の利害関係を有する正会員は、その決議に加わることができない。

(議事録)

- 第28条 総会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。
- (1) 日時及び場所
- (2) 正会員の現在数

- (3) 出席した正会員の数（書面若しくは電磁的方法による表決者、又は表決委任者については、その旨を明記すること）
- (4) 審議事項及び議決事項
- (5) 議事の経過の概要及び議決の結果
- (6) 議事録署名人の選任に関する事項

2 議事録には、議長及び出席した正会員のうちからその会議において選任された議事録署名人2人以上が署名、押印しなければならない。

第5章 理事会

(構成)

- 第29条 理事会は、理事をもって構成する。
- 2 監事は、理事会に出席し、意見を述べることができる。

(権能)

第30条 理事会は、この定款に定めるものの他、次の事項を議決する。

- (1) 総会に付すべき事項
- (2) 総会の議決した事項の執行に関する事項
- (3) その他、総会の議決を要しない業務の執行に関する事項

(開催)

第31条 理事会は、次の各号の一に該当する場合に開催する。

- (1) 理事長が必要と認めるとき。
- (2) 理事総数の3分の1以上から、会議の目的である事項を記載した書面によって招集の請求があったとき。

(招集)

- 第32条 理事会は理事長が招集する。
- 2 理事長は、前条2号の規定による請求があったときは、その日から30日以内に理事会を招集しなければならない。
 - 3 理事会を招集するときは、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面又は電磁的方法をもって、少なくとも5日前までに通知しなければならない。

(議長)

第33条 理事会の議長は、理事長がこれに当たる。

(議決)

- 第34条 理事会における議決事項は、第32条第3項の規定によって、あらかじめ通知した事項とする。
- 2 理事会の議事は、理事総数の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(表決権)

- 第35条 各理事の表決権は平等なものとする。
- 2 やむを得ない理由のため理事会に出席できない理事は、あらかじめ通知された事項について書面又は電磁的方法をもって表決することができる。
 - 3 前項の規定により表決した理事は、前条の適用については、出席したものとみなす。
 - 4 理事会の議決について、特別の利害関係を有する理事員は、その議決に加わることができない。

(議事録)

第36条 理事会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

- (1) 日時及び場所
 - (2) 理事の現在数
 - (3) 出席した理事の数（書面又は電磁的方法による表決者については、その旨を明記すること）
 - (4) 審議事項及び議決事項
 - (5) 議事の経過の概要及び議決の結果
 - (6) 議事録署名人の選任に関する事項
- 2 議事録には、議長及びその会議において選任された議事録署名人1人以上が署名、押印しなければならない。

第6章 資産、会計及び事業計画

(構成)

第37条 この法人の資産は、次の各号に掲げるものをもって構成する。

- (1) 財産目録に記載された財産
- (2) 会費
- (3) 寄付金品
- (4) 財産から生じる収益
- (5) 事業に伴う収益
- (6) その他の収益

(資産の区分)

第38条 この法人の資産は、特定非営利活動に係る事業に関する資産とする。

(資産の管理)

第39条 この法人の資産は、理事長が管理し、その方法は、総会の議決を経て、理事長が別に定める。

(経費の支弁)

第40条 この法人の経費は、資産をもって支弁する。

(会計の原則)

第41条 この法人の会計は、法第27条各号に掲げる原則に従って行わなければならない。

(会計の区分)

第42条 この法人の会計は、特定非営利活動に係る事業に関する会計とする。

(事業計画及び予算)

第43条 この法人の事業計画及びこれに伴う予算は、毎事業年度ごとに理事長が作成し、理事会の議決を経なければならない。これを変更する場合も同様とする。

(暫定予算)

- 第44条 第43条の規定にかかわらず、やむを得ない理由により予算が成立しないときは、理事長は、理事会の議決を経て予算成立の日まで前年度の予算に準じ収益費用を講じることができる。
- 2 前項の収益費用は、新たに成立した予算の収益費用とみなす。

(事業報告書及び決算)

- 第45条 理事長は、毎事業年度終了後3ヶ月以内に、事業報告書、活動計算書、財産目録、貸借対照表を作成し、監事の監査を経て、総会の議決を経なければならない。
- 2 決算上剰余金を生じたときは、次事業年度に繰り越すものとする。

(長期借入金)

第46条 この法人が資金の借入をしようとするときは、その事業年度の収益をもって償還する短期借入金を除き、総会の議決を経なければならない。

(事業年度)

第47条 この法人の事業年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

第7章 事務局

(設置)

第48条 この法人の事務を処理するため、事務局を置く。

- 2 事務局には、事務局長その他の職員を置く。
- 3 事務局の職員は、理事長が任免する。

(書類及び帳簿の備置)

第49条 事務所には、特定非営利活動促進法第28条に規定される書類のほか、次に掲げる書類を常に備えておかなければならない。

- (1) 会員名簿及び会員の異動に関する書類
- (2) 収益、費用に関する帳簿及び証拠書類

第8章 定款の変更、解散及び合併

(定款の変更)

- 第50条 この法人が定款を変更しようとするときは、総会に出席した正会員の過半数の議決を経なければならない。ただし、可否同数のときは議長の決するところによる。また、変更内容については法第25条第3項に規定する事項については、所轄庁の認証を得なければならない。
- 2 この法人の定款を変更（前項の規定により所轄庁の認証を得なければならない事項を除く。）したときは、所轄庁に届け出なければならない。

(解散)

第51条 この法人は、次に掲げる事由により解散する。

- (1) 総会の決議
 - (2) 目的とする特定非営利活動に係る事業の成功の不能
 - (3) 正会員の欠亡
 - (4) 合併
 - (5) 破産手続開始の決定
 - (6) 所轄庁による設立の認証の取消し
- 2 前項第1号の事由によりこの法人が解散するときは、総会において出席した正会員の3分の2以上の議決を経なければならない。
 - 3 第1項第2号の事由により解散するときは、所轄庁の認定を得なければならない。

(残余財産の帰属)

第52条 この法人が合併又は破産手続開始の決定以外の事由により解散したときに残存する財産は、総会において出席した正会員の過半数の議決を経て選定された、特定非営利活動法人、公益社団法人、公益財団法人、国又は地方公共団体に譲渡する。

第9章 雑則

(公告の方法)

第53条 この法人の公告は、この法人の掲示場に掲示するとともに、官報に掲載して行う。ただし、法第28条の2第1項に規定する貸借対照表の公告については、この法人のホームページにおいて行う。

(委任)

第54条 この定款の施行について必要な事項は、総会の議決を経て、理事長がこれを定める。

附則

1. この定款は、この法人の成立の日から施行する。
2. この法人の設立当初の役員は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 理事長 加茂文治
- (2) 理事 藤田正厚
成田元男
- (3) 監事 永山妙子

3. この法人の設立当初の役員の任期は、第15条第1項の規定にかかわらず平成14年の最初の総会の日までとする。

4. この法人の設立当初の事業年度は、第48条の規定にかかわらず、成立の日から平成14年3月31日までとする。

5. この法人の設立当初の事業計画及び収支予算は、第43条の規定にかかわらず、設立総会が定めるところによるものとする。

6. この法人の設立時の会費は、第8条の規定にかかわらず次に掲げる額とする。

- | | | | |
|----------|-----|----|----------|
| (1) 正会員 | 年会費 | 1口 | 10,000円 |
| (2) 賛助会員 | 年会費 | 1口 | 5,000円 |
| (3) 特別会員 | 年会費 | 1口 | 100,000円 |

附則

この定款は、平成13年12月17日から施行する。

附則

この定款は、平成21年10月23日から施行する。

附則

この定款は、平成29年8月10日から施行する。

認定NPO法人トリトン・アーツ・ネットワーク 2017年度事業報告書
認定NPO法人トリトン・アーツ・ネットワーク 編

認定NPO法人トリトン・アーツ・ネットワーク 2017年度評価事業報告書
認定NPO法人トリトン・アーツ・ネットワーク評価委員会 編

発行 2018年7月

認定NPO法人トリトン・アーツ・ネットワーク
〒104-6005 東京都中央区晴海1-8-10 晴海アイランドトリトンスクエアX棟5階
TEL : 03-3532-5701 FAX : 03-3532-5703
<http://www.triton-arts.net>